

平成29年度事業報告



社会福祉
法人

長野市社会福祉協議会

目 次

I 実施事業と重点目標に対する評価

事業理念 1

住民参加・協働による福祉を基盤としたまちづくり 1

事業理念 2

その人らしい生き方や暮らしを尊重した支援の実施 13

事業理念 3

状況に応じた柔軟で迅速な取組の実施 21

経営理念 1

地域住民に分かりやすい機能的な組織体制の確立 23

経営理念 2

健全な財政運営の実現 25

付属明細書

II 経営理念に関する別掲資料 27

III 事業実績（資料） 34

I 実施事業と重点目標に対する評価

事業理念1 住民参加・協働による福祉を基盤としたまちづくり

運営方針ア 住民参加・協働の中心の場であり、小地域福祉活動推進の基礎組織となっている住民自治協議会

基本施策	重点目標	重点実施項目	No.	実施事業
基本施策 1-ア-01 住民自治協議会との協働関係の構築 基本施策 1-ア-02 住民自治協議会への支援 基本施策 1-ア-03 地域福祉ワーカーへの支援	○改正介護保険法の新しい総合事業と相まって小地域における住民主体の福祉活動を推進するため、地区担当職員を中心に、地区訪問等を実施し、住民自治協議会への支援を強化します。	○住民自治協議会との連携体制をより強固なものにするため、地区担当制により、積極的に福祉関係部会の定例会へ参加するなど、継続的に支援を行います。[地区担当制による職員派遣等の支援]	1	住民自治協議会福祉関係部会関係者情報交換会の開催 【地域福祉課】
			2	住民自治協議会福祉関係部会事務担当者会議の開催 【地域福祉課】
			3	地区担当制による職員派遣等の支援 【地域福祉課】
			4	福祉のまちづくりを進めるための実践事業 【地域福祉課】
			5	地区地域福祉活動計画の見直し及び進捗管理の支援 【地域福祉課】
			6	住民福祉活動事例集の作成 【地域福祉課】
			7	地域福祉ワーカーへの支援 【地域福祉課】
			8	生活改善運動推進事業 【総務課】
			9	社会を明るくする運動推進事業 【総務課】
			10	災害見舞金事業 【総務課】

が、協議・実践する機能を発揮することができるよう支援するとともに、協働によるまちづくりを実践します。

事業概要	事業実績	重点目標に対する評価
住民自治協議会の役員を対象に、組織体制や活動に対して情報交換を行う。	〔実績〕 ○第1回 8月4日(金)14:00～16:00、参加者68人 ○第2回 2月8日(木)14:00～16:00、参加者 60人	○住民自治協議会への支援により、新しい総合事業に対する住民自治協議会の福祉関係部会や地域福祉ワーカーの理解が深まった。 既存の事業に介護予防の視点を盛り込んだ取り組みや、生活支援体制整備として検討会が設置されるなど、住民主体の福祉活動が起きてきている。
住民自治協議会活動の事務を担当する職員を対象に、各種事務手続き等に関して説明を行う。	〔実績〕 ○日時 4月21日(金) 10:00～11:30 ○会場 ふれあい福祉センター ○参加者数 56人	
地域福祉推進担当の職員の担当する地区を決め、その職員が住民自治協議会の役員会等の各種会議や事業の企画・立案等の相談に継続的に応じる。	〔実績〕 ○職員派遣回数 144回(H28 186回) 内訳:活動計画策定・進行管理7回(H28 60回) 地区訪問24回(H28 21回) その他77回(H28 105回)	
住民自治協議会が行う福祉活動(福祉移送、サロン、子育て支援等)に対して、経費の助成を行う。	各地区の実情に応じた取り組みに対して助成を行った。 〔実績〕 ○交付決定額 19,863千円(H28 20,201千円) (別表1)P34	
住民自治協議会が策定した「地区地域福祉活動計画」の見直しや評価にあたり、会議の進行や企画等のサポートを行う。	各地区の状況に基づき、計画見直し及び進捗管理等のサポートを行った。 〔実績〕 2地区 8回(H28 8地区 60回) ○大豆島地区(7回)、川中島地区(1回)	
各地区の福祉推進員活動の事例をまとめた冊子を作成し、配布する。	事業No.17長野市地域福祉推進セミナー開催事業に併せ、各地区から福祉推進員の活動紹介用紙を集約し、セミナー会場で展示を行うとともに、データ化したものを各地区へ配布した。 〔実績〕 ○活動用紙提出地区 25地区(H28 25地区)	
地域福祉を推進する担い手として各地区に配置されている地域福祉ワーカーの活動への助言など支援を行う。	市福祉政策課主催の地域福祉ワーカー連絡調整会議に出席し、地域福祉ワーカーの活動に対する助言等を行った。 第1回 5月26日 第2回 7月28日 第3回 9月29日 第4回 11月24日 第5回 1月26日 第6回 2月23日 市介護保険課主催の生活支援コーディネーター業務研修に出席し、生活支援コーディネーターとしての活動に対する助言等を行った。 4月28日 10月31日	
明るく豊かなまちづくりのため、生活の合理化、簡素化運動を一つの市民運動として位置付け普及推進に取り組む。	各地区において、簡素化運動を推進するため、住民集会を開催した。 〔実績〕 ○9地区 補助金交付額196,223円 (H28 7地区 159,377円)	
すべての国民が犯罪・非行の防止と罪を犯した人たちの更生について理解を深め、それぞれの立場において力を合わせ、犯罪の無い明るい社会を築こうとする運動。	第67回社会を明るくする運動を推進した。 〔実績〕 ○25地区 補助金交付額400,303円 (H28 28地区 427,647円) ○強調月間:7月、駅前街頭広報活動 7月3日 (別表2)P34	
災害による住宅罹災・死亡及び事故による死亡に対して、長野県共同募金会、日本赤十字社長野県支部および当会の3者による見舞金品の給付を行う。	〔見舞金給付実績〕 ○住宅罹災 11件 220千円 ○事故死 11件 190千円 計22件 410千円 (H28 23件 330千円) ※県共同募金会及び日赤長野県支部と併せ給付 (別表3)P36	

運営方針イ 地域福祉活動の担い手の支援を行うとともに、関係者の連携を図ることで、地域の特性を活かした

基本施策	重点目標	重点実施項目	No.	実施事業
基本施策 1-イ-01 住民参加の支え合い活動の推進 基本施策 1-イ-02 福祉ネットワーク構築の推進 基本施策 1-イ-03 民生・児童委員活動への支援 基本施策 1-イ-04 福祉推進員活動への支援 基本施策 1-イ-05 福祉意識を高めるための機会の創出	○住民一人ひとりの豊かな福祉観を醸成することで地域における福祉意識を高め、地域課題に対応した取り組みが充実するよう担い手づくりや関係者とのネットワーク構築を図ります。 ○地域を取り巻く福祉の諸問題について考え、福祉に対する意識を高める機会をつくります。	○住民自治協議会と連携し、地域たすけあい事業を継続的に実施するとともに、地域課題に対応した取り組みが充実するよう担い手づくりなどの具体的な取り組みを図ります。 [地域たすけあい事業] ○関係者の連携を深めるため、地区のネットワーク会議へ積極的に参加します。 ○民生・児童委員や福祉推進員等への支援を行うとともに、積極的に関係者とのネットワーク構築を図ります。[福祉推進員研修事業(全市・地区別)]、[長野市地域福祉推進セミナーの開催] ○継続して取り組んでいる孤立防止活動や新しい総合事業の展開を踏まえ、地域の福祉関係者への働きかけを実施します。[孤立防止活動の推進]	11	地域たすけあい事業 【地域福祉課】
			12	配食サービス受託事業 【地域福祉課】
			13	信州暮らしの支え合いネットワーク事業への協力・参加 【地域福祉課】
			14	福祉推進員研修事業(全市・地区別) 【地域福祉課】
			15	福祉推進員の手引き・事例集の作成 【地域福祉課】
			16	長野市地域福祉推進セミナーの開催 【地域福祉課】
			17	孤立防止活動の推進 【地域福祉課】
			18	長野市社会福祉大会の開催 【総務課】
			19	長野市民生委員児童委員協議会への支援(事務受託) 【総務課】

総合的な支援体制を構築します。		
事業概要	事業実績	重点目標に対する評価
高齢者、障害者、母子父子世帯等に対して、地域住民の協力を得て有償による家事援助及び福祉移送サービスを行う事業。住民自治協議会との協働により実施する。	市内31地区(25事業所)で実施した。(長野市高齢者福祉課からの補助金) 〔実績〕 ○実施件数 40,778件(H28 42,805件) 内訳:家事援助3,718件(H28 3,395件) 福祉移送37,060件(H28 39,410件) (別表4)P36	○担い手が高齢化してきているため、安心して事業の協力・利用ができるよう、高齢者向けの安全運転講習に取り組んだ。 ○地区で開催される福祉推進員研修会等へ積極的に出席するとともに各事業を実施することにより、担い手づくりや関係者とのネットワーク構築を図った。 ○研修や大会等を重ねたことにより、住民の福祉に対する理解が深まり、事業の協力者も増えつつある。
食事づくりが困難な高齢者や障害者への昼食の配食を行う。長野市からの受託事業。	配食サービスを利用する方の希望に応じて、週一回や隔日などで昼食の配達を行った。 〔実績〕 ○鬼無里地区 1,560食 延べ141人(H28 1,575食、延べ150人)	
県内の住民参加型有償在宅福祉サービスを行っている団体により組織されている連合会(長野県社会福祉協議会が事務局)に協力・参加する。	〔実績〕 ○支え合いをひろげる住民主体の生活支援セミナー 12月6日 会場:長野県自治会館 12月7日 会場:伊那文化会館 たすけあい事業コーディネーター3人参加	
住民自治協議会が設置する福祉推進員を対象に、福祉推進員の役割等の基礎的事項について、住民自治協議会を単位及び各地区の福祉推進員活動の事例を学ぶなどの全体研修会を行う。	〔実績〕 ○福祉推進員を対象とした研修会 20回(H28 17回) ○全体研修 長野市地域福祉推進セミナー開催事業に併せて実施した。	
福祉推進員の役割等の基礎的事項をまとめた手引きを作成し、福祉推進員に配布する。	「福祉推進員活動の手引き(H29年度版)ー地域で福祉活動に取り組もうー」を作成・配布した。 〔実績〕 ○作成・配布部数 2,000部(H28 2,000部)	
長野市地域福祉計画に基づき、市民、福祉関係機関、行政等が一同に会し、地域福祉の推進に関する事柄について学び、意見交換を行う。	〔実績〕 ○日 時 6月21日(水)13:30～16:30 ○会 場 長野市東部文化ホール ○参加者数 約270人 ○内 容 基調講演及び事例発表(市内4団体) ○テ マ 地域福祉の現場を知る ～課題解決のための気づきの視点と地域資源との連携を考える～	
孤立を見逃さない地域づくりに向け、市と協働し取り組んでいる「孤立防止・見守りネットワーク事業」を推進するとともに、地域の福祉関係者である住自協役員や民生委員・児童委員、福祉推進員等へ孤立防止に向けての意識啓発への働きかけを行う。	「長野市孤立予防・見守りネットワーク協議会」(市主催、7月12日開催)へ出席し協力をした。また、各地区福祉推進員研修及び地域福祉推進セミナー(6月21日開催)において、孤立防止に向けての意識啓発を行った。	
住民の福祉活動に関する意識向上と啓発を目指し、長野市社会福祉大会を開催する。	「誰もがみんな自分らしく暮らすために 支え合いの地域づくり」を大会テーマとし、第63回長野市社会福祉大会をふれあい福祉センターホールにて開催した。被表彰者を含めおよそ150人が参加した。 (別表5)P36	
長野市民生委員児童委員協議会の事務局を受託し、37地区(法定単位)民生委員児童委員協議会の連携・活動推進および情報交換を図るとともに関係機関・団体等との連絡調整等を行う。	会の事業計画及び予算に基づき、会議や行事など会の運営について、事務局として支援を行った。 (事務受託団体一覧 別表17)P45	

運営方針ウ 市域・小地域における地域活動の拠点を整備し、「福祉共育(教育)」を通じて、あらゆる人がそれぞれ

基本施策	重点目標	重点実施項目	No.	実施事業
<p>基本施策 1-ウ-01 ボランティア・地域活動拠点の整備</p> <p>基本施策 1-ウ-02 地域のつながりを活かした地縁型ボランティアの養成</p> <p>基本施策 1-ウ-03 多様性のあるボランティアの養成</p>	<p>○身近な地域におけるボランティア活動の推進を図るため、住民自治協議会と協働し、地域で活動するボランティアの養成や講座の開催を通じ、拠点整備及び多様な居場所づくりに取り組みます。</p>	<p>○地区ボランティアセンターの開設・運営支援及びまちの縁側事業など地域の多様な居場所づくりを推進します。[地区のボランティア活動拠点整備への支援]</p> <p>○介護保険法の改正を踏まえ、健康寿命を延ばすための取り組みとして、これまで以上に体操等の介護予防への取り組みの充実を図ります。[介護予防関連事業]</p> <p>○老人福祉センター等がより地域住民に活用される施設となるよう、住民自治協議会等との連携を図ります。[ボランティア・地域活動の支援]</p> <p>○サマーチャレンジボランティアをはじめとする福祉共育の実践など住民自治協議会・公民館・学校・企業・NPO等との連携の強化を図ります。[地域でのボランティア活動体験による担い手養成]</p>	20	地区のボランティア活動拠点整備への支援【地域福祉課】
			21	ボランティアセンター運営事業【地域福祉課】
			22	老人福祉センター管理経営事業【地域福祉課】
			23	高齢者生きがいづくり事業【地域福祉課】
			24	介護予防関連事業【地域福祉課】
			25	ボランティア・地域活動の支援【地域福祉課】
			26	住民自治協議会等と連携した地域課題対応ボランティアの開発・養成【地域福祉課】
27	地域でのボランティア活動体験による担い手の養成【地域福祉課】			

の個性を活かして参加できる地域づくりの支援を行います。		
事業概要	事業実績	重点目標に対する評価
地域でのボランティア活動の拠点づくりの支援として、整備に係る経費の助成を行う。	今年度川中島、三輪地区に地区ボランティアセンターを開設することができ、相談・訪問・説明会等を行った。 ○川中島地区:6回 7月3日開所 ○三輪地区 :6回 7月7日開所	○今年度は、新たに川中島と三輪地区に地区ボランティアセンターを開設することができ、合計16カ所となった。引き続き身近な地域におけるボランティア活動の推進を図るため、拠点整備に向けた支援を継続していく。
ボランティアセンター事業の適正な運営を図るため、ボランティア団体及び学識経験者等の関係者をもって委員会を組織し、定例的に会議を開催する。	定例の運営委員会を年4回実施した。 〔実施回数〕 第1回 5月19日 第2回 8月30日 第3回11月22日 第4回 2月22日	
高齢者の健康増進、教養の向上及びレクリエーションのための便宜を提供することや、地域における福祉活動の場を提供する。長野市からの指定管理事業。	1 指定管理制度により以下のとおり実施した。 ○三陽・安茂里・氷鉦・鬼無里・中条 (H29年度～H33年度の5年間の指定管理者) ○篠ノ井 (H29年度～H30年度の2年間の指定管理者) ○信州新町福祉センター管理事業 (H28年度～H32年度の5年間の指定管理者) ※氷鉦は老人憩の家を含む 2 市からの委託により下記のとおり実施した。 ○信州新町福祉センター高齢者生きがいづくり講座業務 (別表6)P37	
高齢者の生きがいや余暇活動の促進を図るため、老人福祉センターが各種教養講座を実施する。	〔実施件数〕 1,406回(H28 1,501回) (別表6)P37	
高齢者が介護が必要な状態にならないよう健康づくり等に関する講座を老人福祉センターで実施する。	介護予防関連講座を市介護保険課と連携し、三陽・安茂里・篠ノ井・氷鉦・中条の各センターにて開催した。 〔実施回数〕 55回(H28:50回)	
老人福祉センターを地域福祉活動の拠点として、ボランティアの養成や活動の担い手づくりにつながるような講座を実施する。	ボランティアカフェやボランティア交流会、小物づくり講座など多種多様な講座や企画を開催した。 〔実施回数〕 1,608回(H28:1,714回) (別表6)P37	
それぞれの課題に取り組むボランティアを養成するためのボランティア養成講座を開催する。	柳原地区住民自治協議会と共催でボランティア養成講座開催 〔実績〕 「地域の資源を知ろう」 ○日 時 6月22日(木) ○参加者 24人	
より身近な地域で学ぶ場を設けることにより活動メニューの幅を広げるため、学習機会をもちたい地域に対して、講師を派遣したり、企画・運営支援を行う。	〔実績〕 浅川地区(3回)、三輪地区(6回)、朝陽地区(3回)、東北3地区(3回)、川中島地区(6回)、鬼無里地区(6回) 計 8地区 延べ27回 (H27 7地区 延べ18回)	○住民自治協議会と連携して8地区でボランティア養成講座等を開催し、より身近な地域で学ぶ場を設けることができた。

重点目標	重点実施項目	No.	実施事業
<p>○児童に安全で安心な居場所を提供するとともに、健全な育成を図ります。</p>		28	<p>福祉教育・ボランティア学習推進事業 【地域福祉課】</p>
	<p>○相談援助体制の強化と課題解決に向けたボランティア活動のプログラム作りを図ります。[課題別ボランティアの促進]、[コーディネート力養成講座の開催]</p>	29	<p>課題別ボランティアの促進事業 【地域福祉課】</p>
		30	<p>ボランティアグループの登録・照会・相談・調整 【地域福祉課】</p>
		31	<p>コーディネート力講座の開催 【地域福祉課】</p>
	<p>○情報発信活動を強化し、ボランティア活動及びボランティアセンターの広報と普及を図ります。 [ボランティア情報の発信]</p>	32	<p>ボランティア情報の発信 【地域福祉課】</p>
	<p>○児童館・児童センター及び子どもプラザの希望児童の受け入れや、特別な配慮を要する児童の受け入れの増加に伴う職員の雇用及び活動拠点の確保に努めます。[児童館・児童センター・放課後子どもプラザの管理経営事業]</p>	33	<p>児童館・児童センター・放課後子どもプラザの管理経営事業 【総務課】</p>
		34	<p>ふれあい福祉センター管理経営事業 【総務課】</p>

事業概要	事業実績	重点目標に対する評価
<p>学校における福祉教育・ボランティア学習を推進するため、福祉教育・ボランティア学習普及校の指定(事業の助成)及び普及校の連絡会議を開催するとともに、教職員研修会を支援する。</p>	<p>1 福祉教育・ボランティア学習普及校事業説明会を開催するとともに、福祉教育のあり方を検討した。 〔実績〕 ○普及校事業説明会 5月9日開催 ○普及校事業申請校 53校(H28 44校) 内訳:小学校34校(H28 29校)、中学校12校(H28 8校)、高校3校(H28 3校)、特別支援学校 4校(H28 4校) 助成金額 1,350千円(H28 1,214千円)</p> <p>2 福祉共育のつどい テーマ「地域全体のつながりで子どもを育てるには」 〔実績〕10月3日に開催。学校関係者、学校関係者、民生児童委員、ボランティアグループ、福祉施設関係者など34人参加。</p> <p>3 福祉学習、人権学習、キャリア教育など多様な場面での支援の相談に応じるため、体験学習への支援に職員の派遣、講師派遣(同行)、受入れを行った。 〔実績〕派遣・受入校 17校(51人)(H28 15校(56人))</p>	
<p>課題に応じたボランティア活動や人材を育成するためのボランティア養成講座を行う。</p>	<p>○ファンレショングラフィック講座 〔実績〕3月12日開催。地域福祉ワーカー中心に16人参加。 ○傾聴レベルアップ講座 〔実績〕3月8日開催。地区での傾聴活動者など18人参加。</p>	
<p>ボランティアに関する様々な情報を収集整理し、情報の提供や需給調整(コーディネート)を行う。</p>	<p>ボランティア活動や、様々な相談に対応し、需給調整を行った。 〔実績〕 ○登録数 1,261団体 81,150人(H28 1,217団体 87,133人)、個人 3,370人(H28 5,503人) ○相談件数 20,656件(H28 21,131件) (別表7、8)P37、38 合計の相談件数は減っているが、対応が困難なケースの件数は増加している。夜間の相談が減っている。会議室予約も1回の電話で数回分とるケースが多い。</p>	
<p>地区ボランティアセンターや福祉施設、病院、企業などで活動するコーディネーターの養成や資質向上のための講座を開催する。</p>	<p>地域福祉ワーカー向け講座のほか、当面する課題に対応するオプション講座など実施した。 〔実績〕 10講座 延べ583人(H28 7講座 延べ259人) (別表9)P38</p>	
<p>情報紙「ボランティアかわらばん」、ホームページ「ボランティアネットながの」、まちの放送局、街中掲示板等を通じて、市内外へボランティア情報を発信する。</p>	<p>編集・発送及び掲示などボランティアの協力を得ながら事業を行った。 〔実績〕 ○「ボランティアかわらばん」は毎月1回6,500部発行。 ○街中掲示板を地区ボランティアセンター、老人福祉センター、協力企業等市内31か所に設置。</p>	
<p>長野市から指定管理者の指定および委託を受け、児童の健全育成を図るとともに就労家庭を支援する児童館等の管理経営を行う。</p>	<p>児童館・児童センター39館と、子どもプラザ46施設の管理を受託し、児童が安全・安心に過ごせる場所の確保等を行い、利用者のニーズに応えることができた。 (別表10)P39</p>	<p>○施設及び職員体制の充実を図り、利用を希望する児童を全て受け入れた。各種研修会等により指導内容等も常に改善を図っており、児童や保護者のニーズに応えることができた。 ○特別な配慮を要する児童の受け入れ対応に伴う職員の確保については、支援の必要時間配分に対する人員確保が厳しく、今後の課題である。</p>
<p>長野市から指定管理者の指定を受け、地域福祉の拠点としてのふれあい福祉センターの管理経営を行う。</p>	<p>市民の福祉活動の拠点として、またボランティア活動の中核施設として数多くの団体に利用をいただいた。 〔実績〕 延べ利用人数 87,594人(H28 93,679人) (別表11)P42</p>	

運営方針エ 寄附や社会貢献等の多様な住民参加の仕組みをつくります。				
基本施策	重点目標	重点実施項目	No.	実施事業
基本施策 1-エ-01 寄附文化の醸成 基本施策 1-エ-02 社会貢献・社会参加の推進	○寄附金や賛助会費の 用途を明らかにすること で、住民が寄附に取り組 みやすい環境を整備しま す。 ○地域に根ざした共同 募金活動の強化を図ると ともに、多様な地域福祉 活動への配分を行いま す。	○寄附の募集方法や賛 助会費の(単価も含め た)制度の見直しについ て検討・開発します。[寄 附・賛助会費の募集] ○長野市共同募金委員 会において市全体の取 り組みの方向性を共有 し、市内各地区におけ る募金活動の強化を図 るとともに、公平適正な配 分を行います。[共同募 金運動協力事業]	35	寄附・賛助会費の募集 【総務課】
			36	社会福祉功労者等の顕彰 【総務課】
			37	共同募金運動協力事業 【総務課】
			38	共同募金配分金事業 【総務課】
			39	日赤活動資金募集事業 【総務課】

事業概要	事業実績	重点目標に対する評価
<p>個人・団体等からの寄附金品の募集、受け入れ手続き等を行う。用途指定・不指定を問わない。</p>	<p>1 賛助会員の募集 本会広報紙等により賛助会員の募集を行った。 [実績] H29年度入会者 0人 退会者 2人 会員数 2人、賛助会費額 年間15,000円</p> <p>2 寄附金品受入状況 [H29年度実績] ○寄附件数 32件 総額 7,706,874円 (H28 39件 7,530,342円) 内訳:現金寄附 6,944,264円 物品寄附換算額 762,610円</p> <p>○寄附の用途別内訳 ボランティア活動振興基金の元金へ 5,000,000円 用途不特定 1,254,264円 介護者リフレッシュへ 500,000円 成年後見センターへ 380,810円 介護サービスへ 381,800円 ボランティアセンターへ 180,000円 老人福祉センターへ 10,000円 (賛助会員・寄附者名簿 別表12)P43</p>	<p>○広報誌「ふくしながの」により用途を明示して賛助会員の募集を行い、住民が寄附に取り組みやすい環境整備に取り組んだ。 また、日赤活動資金の募集や共同募金について特集記事を掲載し、各事業のPRを行った。</p>
<p>長野市社会福祉大会において、社会福祉に功労があった個人・団体を表彰する。</p>	<p>8月29日に開催した長野市社会福祉大会時に表彰を実施した。 [実績] ○社会福祉功労者 29人 (H28 89人) ○優良住民自治協議会等 2団体 (H28 2団体) ○社会福祉事業協助者 22件 (H28 16件) (別表5)P36</p>	
<p>社会福祉法に基づき長野県共同募金会が実施する寄附金の募集において、長野県共同募金会長長野市共同募金委員会の事務局として事業に協力する。</p>	<p>[実績] ○H29年度実績額56,474,349円 目標額 58,347,000円 達成率 96.79% 【参考】H28年度実績額 58,261,925円から減少 ○募金運動期間:10～12月 (別表13)P44</p>	<p>○「長野市共同募金委員会」への改組を行い、運営委員会を中心に取組をおこなった。また、限られた財源を有効に活用するために、審査委員会において今後の配分の方向性を確認した。</p>
<p>長野県共同募金会より配分された配分金を活用した事業を行う。</p>	<p>配分金を活用した事業は概ね実施された。 共同募金を原資として市社協が実施する事業費に対し、配分額が不足してきており、ふれあい福祉基金を取り崩して充当。 配分金の約75%が各種助成事業となっている。 [配分額及び内訳] ○H29年度配分額(28年度募金)32,769,925円 内訳:社協 24,860,824円 住自協(目標超過分)7,909,101円 (別表14、15)P45</p>	
<p>日本赤十字社法に基づき設置された日本赤十字社の長野県支部長野市地区の事務局として、支援者募集及び活動資金収納を行う。</p>	<p>活動資金募集実績は前年に比べ減少し、目標に達しなかった。 [実績] ○H29年度活動資金募集実績 50,728,223円 目標額 56,922,000円 達成率 89.12% 【参考】平成28年度実績 52,679,077円 ○強調月間:5月 (別表16)P45</p>	

			No.	実施事業
			40	長野市遺族会への支援(事務受託) 【総務課】
			41	長野市手をつなぐ育成会への支援(事務受託) 【総務課】
			42	長野市赤十字奉仕団への支援(事務受託)【総務課】
			43	長野地区保護司会への支援(事務受託) 【総務課】
			44	長野地区更生保護女性会への支援(事務受託)【総務課】

運営方針オ 長野市地域福祉計画に基づき、本会と長野市との役割及び責任を明らかにする中で一体的に

基本施策	重点目標	重点実施項目	No.	実施事業
基本施策 1-オ-01 長野市地域福祉計画の推進	○第三次長野市地域福祉計画を着実に推進するよう、長野市福祉政策課と連携した取り組みを図ります。	○第三次長野市地域福祉計画を着実に推進するよう、長野市福祉政策課と連携するとともに、地域福祉計画推進委員会の運営に協力します。[長野市地域福祉計画推進委員会への協力等]	45	長野市地域福祉計画推進委員会への協力 【地域福祉課】
			46	長野市社会福祉審議会地域福祉専門分科会への参加 【地域福祉課】
			47	長野市地域福祉計画庁内推進会議への参加 【地域福祉課】

事業概要	事業実績
長野市遺族会の事務局を受託し、会への支援を行う。	会の事業計画及び予算に基づき、会議や行事など会の運営について、事務局として支援を行った。 (事務受託団体一覧 別表17)P45
長野市手をつなぐ育成会の事務局を受託し、会への支援を行う。	会の事業計画及び予算に基づき、会議や行事など会の運営について、事務局として支援を行った。 (事務受託団体一覧 別表17)P45
長野市赤十字奉仕団の事務局を受託し、会への支援を行う。	会の事業計画及び予算に基づき、会議や行事など会の運営について、事務局として支援を行った。 (事務受託団体一覧 別表17)P45
長野地区保護司会の事務局を受託し、会への支援を行う。	会の事業計画及び予算に基づき、会議や行事など会の運営について、事務局として支援を行った。 (事務受託団体一覧 別表17)P45
長野地区更生保護女性会の事務局を受託し、会への支援を行う。	会の事業計画及び予算に基づき、会議や行事など会の運営について、事務局として支援を行った。 (事務受託団体一覧 別表17)P45

まちづくりを進めます。

事業概要	事業実績	重点目標に対する評価
第三次長野市地域福祉計画の進捗管理や評価を行う長野市地域福祉計画推進委員会に職員が出席したり、必要な事務等に協力する。	長野市地域福祉推進会議が設置され、3月28日に第1回会議が開催された。長野市福祉政策課(主管課)と共に事務局として課長、課長補佐のほか担当職員が参加。会議の位置づけ、役割及び今後の進め方についての説明がされた。	○職員の地区担当制をとることにより、長野市地域福祉計画に沿って策定された各地区地域福祉活動計画の進行管理の実施に協力し、計画の着実な推進を図った。
長野市の地域福祉施策のあり方について市民の意見や有識者等からの専門的な知識を反映させるため、長野市が設置している審議会へ参加する。	長野市が実施する長野市社会福祉審議会地域福祉専門分科会については、今年度は開催されなかった。	
長野市地域福祉計画の進行管理・評価を行うため、長野市が市民・福祉関係機関等により組織した委員会への出席や、事務局的作用を担う。	長野市が実施する長野市地域福祉計画庁内推進会議については、今年度は開催されなかった。	

事業理念2 その人らしい生き方や暮らしを尊重した支援の実施

運営方針ア 介護保険法及び障害者総合支援法等に基づき、利用者が住み慣れた地域で暮らし続けることが

基本施策	重点目標	重点実施項目	No.	実施事業
<p>基本施策 2-ア-01 多様な利用者のニーズを受けとめ、ニーズにあったサービスを提供できる組織づくり</p> <p>基本施策 2-ア-02 地域の実情に応じた介護サービスの展開(介護サービスと地域福祉の連携強化)</p> <p>基本施策 2-ア-03 経営管理力の向上と人材の確保</p>	<p>○各サービスセンター内の連携強化と職員の資質向上を図ります。</p> <p>○住民と専門職や関係機関、各地区住民自治協議会などと連携して地域に貢献できる事業所を目指すとともに、認知症の人、家族に対し専門的知識を活用して支援を行います。</p> <p>○介護アドバイザーから学んだ知識・技術を活かして、引き続きサービスの改善に取り組みます。</p>	<p>○明確な目標を与え、評価を行うことにより人材の育成や定着を図ります。</p> <p>○人材や専門職としてのノウハウを活用し、認知症の人の家族介護者や地域に貢献します。</p> <p>○介護サービス事業所における法令順守の徹底を図ります。</p> <p>○利用者に満足してもらえるサービスを提供できるよう、介護サービス事業所の環境整備を図ります。</p>	48	キャリアパス制度の整備 【介護サービス課】
			49	通所介護事業所を対象に、「認知症サポーター養成講座」、「介護相談」や、家族介護者支援の実施 【介護サービス課】
			50	介護人材の育成 【介護サービス課】
			51	居宅介護支援事業 【介護サービス課】
			52	訪問介護事業 【介護サービス課】
			53	通所介護事業 【介護サービス課】
			54	短期入所生活介護事業 【介護サービス課】
			55	認知症対応型共同生活介護事業 【介護サービス課】
			56	訪問看護事業 【介護サービス課】
57	居宅介護 【介護サービス課】			

できるよう、自立支援に資する質の高いサービスを提供します。

事業概要	事業実績	重点目標に対する評価
介護職員が、能力・資格・経験等に応じ適切な処遇を受けることにより、将来の展望を持って働き続けられるようキャリアパス制度の整備を行う。	課主催のステップアップ研修を全職員が受講した。技術・知識を学んだうえで、マニュアルに基づき自己評価・他者評価を実施した。事業所内において、介護職員のキャリアアップを推進・支援していく役割を担う人材を育成するため、評価者(アセッサー)講習を受講した。	○各サービスセンター内の事業担当者が集まる連携会議を毎月開催した。職員間の連携を図り、それぞれの事業が抱える問題点等について、様々な視点からアドバイスすることで、職員の資質向上、サービスの質向上へとつながっている。
地域住民や介護者に施設を知ってもらったり、専門的知識や技術を活用し地域に貢献する。	通所介護事業所を会場に、地域住民を対象に認知症サポーター養成講座を実施した。介護者を招き、家族(利用者)がデイサービスでどのように過ごしているのか見たり、利用者と同じ昼食を体験した。	○地域包括支援センターを中心に認知症カフェの運営を支援した。4月には、吉田地区で住民自治協議会や各関係機関と共に開設に向け準備を進めてきた、オレンジカフェ「ホッとよしだ」がオープンし、地域住民の認知症に対する理解につながっている。
研修体系に基づき、OJT、OFF-JTを効果的に実施または受講する。新規採用職員に対し、エルダーメンター制度を取り入れ、職場への適応を支援する。	研修体系に基づき実施した。新規採用職員(有期雇用職員含む)31人に、エルダーメンター制度を中心に職場への適応を支援した。	○新たな試みとして、柳町通所介護事業所を会場に、子ども食堂「柳町カフェ」を開催した。参加者からボランティアまで、大勢の地域住民が施設を訪れ、地域に開かれた事業所となっている。
要介護状態の高齢者等の心身の状況、環境、希望等を把握し、ケアプランの作成を行い、サービス提供事業所との連絡調整等を行う。	11事業所でケアプランの作成等を行った。また、特定加算事業所は、運営基準等を遵守するとともにケアマネジメント技術の向上を図った。(別表19、20)P46～48	○介護アドバイザーから学んだ知識・技術を基に、活動しやすいよう施設内の環境を整えている。
ホームヘルパーが家庭を訪問し、食事や排泄など日常生活上の介護や、調理や洗濯などの生活援助を行う。	身体介護または日常生活を支援する生活援助サービスを8事業所で提供した。サービス内容の見直し等を行い、利用者の自立支援につながるサービスを提供した。(別表21)P48	
通所介護事業所において、食事、入浴などの日常生活上の世話や機能回復のための訓練、レクリエーションなどを行う。	通所介護サービスを10事業所で提供した。アドバイザーの助言を取り入れ、利用者一人ひとりが持っている力を見極めながら、利用者本位の自立支援を行った。(別表22)P50	
短期入所施設において、入浴、食事などの日常生活上の介護や機能訓練などを行う。	短期入所生活介護サービスを2事業所で提供した。機能訓練や散歩を積極的に行った。(別表23)P52	
認知症高齢者を対象にしたグループホームにおいて、共同生活の中で、必要な介護や生活の世話を行う。	鬼無里なかよしハウスにおいて、認知症対応型共同生活介護サービスを提供した。新規入所者の行動・心理症状に対する支援方法をスタッフ全員で考えるなど、入所者が安心して共同生活を送れるよう支援した。(別表24)P53	
看護師が家庭を訪問し、主治医の指示に従って、療養上の世話や診療の補助などを行う。	定期的に地区内のケア会議に出席し、情報交換を行った。医療依存の高いケースに対応し、在宅での生活期間を長期に維持できるよう支援した。	
障害者の自宅において、入浴、排せつ、食事などの介護や調理、洗濯、掃除などの家事を行う。	身体介護または日常生活を支援する生活援助サービスを提供した。サービス内容の見直し等を行い、利用者の自立支援につながるサービスを提供した。(別表25)P53	

No.	実施事業
58	重度訪問介護 【介護サービス課】
59	同行援護 【介護サービス課】
60	移動支援サービス 【介護サービス課】
61	高齢者生活福祉センター受託事業 【介護サービス課】
62	高齢者共同生活支援施設受託事業 【介護サービス課】

運営方針イ 介護者の身体的及び精神的負担等の改善を図ることができるよう福祉サービスを提供します。

基本施策	重点目標	重点実施項目	No.	実施事業
基本施策 2-イ-01 介護者支援の取り組みの充実	○介護をしている方の孤立化を防ぐため、リフレッシュの機会や交流の場の提供を図ります。	○認知症の家族を介護している方や、男性の介護者だけといった対象を限定した企画を開催したり、参加して楽しかったと感じてもらえるような企画を開催することで、少しでも事業に参加してもらえるような取り組みを検討します。[在宅介護者リフレッシュのつどい事業]、[介護者交流事業]	63	在宅介護者リフレッシュのつどい事業 【地域福祉課】
			64	介護者交流事業 【地域福祉課】
			65	るすばん介護支援事業 【地域福祉課】

事業概要	事業実績
重度の障害者で常に介護を必要とする人に、自宅で入浴、排せつ、食事などの介護や、外出時における移動支援などを総合的に行う。	身体介護または日常生活を支援する生活援助サービスを提供した。 サービス内容の見直し等を行い、利用者の自立支援につながるサービスを提供した。 (別表25)P53
移動が困難な視覚障害者等に対し、通院介助や日常生活における買い物など、外出時に必要な援助を行う。	視覚障害者に対し、外出支援のサービスを提供した。 サービス内容の見直し等を行い、利用者の自立支援につながるサービスを提供した。 (別表25)P53
屋外での移動が困難な障害者を対象に、ホームヘルパーが社会生活を営む上で必要な外出や余暇活動を実現するための外出等を支援する。	障害者総合支援法に基づく市地域生活支援事業の「移動支援サービス」を提供した。 (別表26)P54
居宅での生活に不安のある独居や夫婦のみの高齢者世帯を対象に、通所介護事業所併設の居住施設において、食事の提供、各種相談、助言、緊急対応等を行う。	3か所(鬼無里、大岡、中条)の高齢者共同生活支援施設の管理・運営を行った。 (別表27)P54
居宅での生活に不安のある独居や夫婦のみの高齢者世帯を対象に、居住施設において、食事の提供、各種相談、助言、緊急対応等を行う。	2か所(戸隠栃原、戸隠豊岡)の高齢者共同生活支援施設の管理・運営を行った。 (別表28)P54

事業概要	事業実績	重点目標に対する評価
在宅で介護をしている介護者を対象に、心身のリフレッシュを図ることを目的として宿泊もしくは日帰り形式により交流を行う。	[宿泊事業] ○期日 10月5日(木)～6日(金) ○行先 富山県魚津市金太郎温泉 ○参加者数 91人 [日帰り事業] ○期日 10月11日(水) ○行先 新潟県長岡市寺泊岬温泉 ○参加者数 29人	○在宅で介護する介護者を対象として、心身のリフレッシュを図るための宿泊及び日帰り形式の交流会を実施したところ、継続参加者が多かった。
在宅で介護をしている介護者を対象に、短時間(2～3時間)で、日頃の介護に対する思いなどについて話し合う事業。老人福祉センターを会場に開催する。	介護者相互の連携を促進するため、昼食を伴う短時間の交流事業を本会が指定管理を行っている老人福祉センター等で開催した。 [実施概要] ○実施回数 15回(8会場)(H28 17回(8会場)) ○延べ参加者数 115人(H28 118人)	
在宅で介護をしている介護者を対象に、訪問介護員を派遣し短時間(2～3時間)の留守番を行う事業。本会以外の訪問介護事業者にも派遣事業者として協力を仰ぎ実施する。	[実施件数] 22件(H28 14件) [内訳] ○平日2時間 6件(H28 6件) ○平日3時間 6件(H28 6件) ○平日時間外・土日・祝日2時間 0件(H28 0件) ○平日時間外・土日・祝日3時間 3件(H28 2件) ○その他 3件(H28 0件)	

運営方針ウ 多様な課題を受けとめ、支援につなげる「総合相談・生活支援体制」を確立し、社会的孤立や制度の

基本施策	重点目標	重点実施項目	No.	実施事業
<p>基本施策 2-ウ-01 「受けとめる」相談事業の充実</p> <p>基本施策 2-ウ-02 「地域での生活」を視点とした相談事業と支援の仕組みづくり</p>	<p>○市民一人ひとりがその人らしく安心して生活できる体制整備を図るため、成年後見支援センター事業部門、日常生活自立支援事業部門及び地域包括支援センター等との連携を強化し、相談から担い手養成まで総合的な取り組みを推進します。</p>	<p>○成年後見制度利用に係る需要の増大に応えるため、人員体制の整備等、センター運営の基盤強化を図ります。</p> <p>○平成28年5月に施行された成年後見制度利用促進法の趣旨に基づき、市民後見人養成の実施主体である長野市と早期実現に向けて協議検討を行います。</p> <p>[長野市成年後見支援センター運営事業]</p>	66	長野市成年後見支援センター運営事業 【地域福祉課】
		<p>○日常生活自立支援事業及び暮らしのあんしんサービス事業に係る相談及び契約者数の増大に対応するため、人員体制の整備等、事業推進の基盤強化を図ります。</p>	67	日常生活自立支援事業 【地域福祉課】
		<p>○住民等からの多様な相談を受け止めるために「相談ガイド」を作成し、相談体制の強化を図ります。</p>	68	暮らしのあんしんサービス事業 【地域福祉課】
		<p>○老人福祉センター、福祉センター及び公共交通バス事業所(以下「各センター」という)に、日常生活自立支援事業及び暮らしのあんしんサービス事業拠点としての機能を付与し、利用者の公平性の担保を図ります。(経営理念1経営方針イと関連)</p>	69	生活福祉資金貸付事業 【地域福祉課】
		<p>[日常生活自立支援事業][暮らしのあんしんサービス事業]</p>	70	助け合い資金貸付事業 【地域福祉課】
			71	きぼう相談事業 【地域福祉課】
			72	法律相談事業 【地域福祉課】

狭間にある福祉課題・生活課題の解決を、多様な支援ネットワークの構築により進めます。

事業概要	事業実績	重点目標に対する評価
<p>成年後見を適切に利用するため専門相談窓口を開設し、相談から調整・申立支援等を総合的に行う。</p>	<p>[実績] ○相談件数 7,030件(H27 7,025件) ○法定後見(累計) 66件(H28 54件) ○任意後見(累計) 5件(H28 2件) (別表29)P54</p>	<p>○三部門の連携強化により、さまざまなケースに対しスムーズな対応が可能となっており、利用者の増加につながっている。</p>
<p>認知症高齢者等の判断能力が不十分な方に対して、日常的な金銭管理や預貯金通帳等の預りを行う。(社会福祉法に定める第2種社会福祉事業)</p>	<p>長野県社会福祉協議会と契約し基幹的社会福祉協議会として、長野市、信濃町、飯綱町、小川村を対象エリアに事業を行った。 [契約件数] 217件(H28 222件) (別表30)P55</p>	<p>○日常生活自立支援事業、暮らしのあんしんサービス事業においては、既存のふれあい福祉センター及びみなみ出張所に加え、本会が管理運営する福祉センター及び老人福祉センターにおいて、サービスの一部を継続して実施している。</p>
<p>判断能力はあるが、単身高齢者等で金銭管理等の不安がある方に対して、日常的な金銭管理や預貯金通帳等の預りを行う。(長野市社協独自事業)</p>	<p>長野市の補助金により実施した。 [実績] ○契約件数 38件(H28 42件) ○相談者実数 333人(H28 360人) ○述べ相談件数 1,490件(H28 1,463件) ○契約内訳 財産保全契約8件 金銭管理契約30件</p>	<p>○まいさば長野市と連携し、貸付対象にならなかった方への支援についても総合的に実施できた。</p>
<p>低所得世帯等に対し、その世帯の自立助長を促すため資金の貸付を行う事業。総合支援資金、福祉資金、教育支援資金、不動産担保型生活資金と用途に応じた貸付を行う。(社会福祉法に定める第2種社会福祉事業)</p>	<p>[実績] ○相談件数1,242件(H28 1,093件) ※内、みなみ出張所 64件(H28 50件) ○貸付件数 21件(H28 18件) ※内、みなみ出張所 1件(H28 3件) (別表31)P55</p>	<p>○まいさば長野市と連携し、貸付対象にならなかった方への支援についても総合的に実施できた。</p>
<p>低所得世帯等に対し、その世帯の自立助長を促すため、小口の資金貸付を行う。(長野市社協独自事業)</p>	<p>○償還件数 2件 33,500円(H28 4件 86,968円) ○未償還件数 4件 141,500円(H28 4件 175,000円) (別表32)P56</p>	
<p>誰にも相談できない、どこに相談したら良いか分からないといった「よろず」的な相談に対し、相談所を開設し相談を行う。</p>	<p>[実績] ○相談件数 1,609件(H28 1,620件) ※内、篠ノ井出張相談 454件(H28 428件) (別表33)P56</p>	
<p>法的な見地からの相談対応が必要な相談に対し、弁護士を相談員として、法律相談を行う(毎月1回)。</p>	<p>[実績] ○法律相談(全12回) 36件(H28 37件) (別表33)P56</p>	

重点目標	重点実施項目	No.	実施事業
<p>○制度の狭間にある相談を受け止める機能を強化するため、社協内の相談事業について関係機関や民生委員・児童委員、住民等に周知を行います。</p> <p>○生活困窮者の自立を図るため、生活、就労に関する総合的な相談、支援に取り組みます。</p> <p>○生活困窮者を支える地域づくりを推進するため、民生委員・児童委員との連携を図り、早期把握や見守り機能の強化を図ります。</p>	<p>○行政、ハローワーク等関係機関との連携を強化し、ニーズを早期に把握して迅速に対応します。</p> <p>○ニーズの把握から課題の整理、支援の実施までを総合的に実施し、生活困窮者等の課題を抱えた方の自立を支えます。</p> <p>○就労訓練支援事業に取り組み、出口支援の充実を図ります。</p> <p>○地区民生委員児童委員協議会定例会等に職員が出向き、事業の周知や困窮者支援に関する研修を行います。</p> <p>○既存の制度やサービスでは対応できない福祉ニーズの解決のために長野県社会福祉協議会が実施する「長野県あんしん創造ねっと事業」へ参加、協力します。</p> <p>[長野市生活就労支援センター“まいさぼ長野市”の運営事業]</p>	73	長野市生活就労支援センター“まいさぼ長野市”の運営事業 【地域福祉課】
		74	ふれあいデイケア事業 【地域福祉課】
		75	地域包括支援センター受託事業 【介護サービス課】
		76	在宅介護支援センター受託事業 【介護サービス課】

事業概要	事業実績	重点目標に対する評価
<p>現に生活に困窮し、最低限度の生活を維持することができなくなるおそれのある生活困窮者の自立の促進を図ることを目的に相談支援を行う。</p>	<p>長野市からの受託により長野市生活就労支援センター「まいさぼ長野市」を平成27年度から開設し、自立相談支援事業、家計相談支援事業、就労訓練支援事業を実施した。</p> <p>〔実績〕</p> <ul style="list-style-type: none"> ○自立相談支援事業 相談件数(延べ)7,085件(H28 6,562件) ○家計相談支援事業 相談件数(延べ)917件(H28 802件) ○就労訓練支援事業 相談・助言・開拓等件数(延べ)282件(H28 66件) ○「長野県あんしん創造ねっと事業」への参加 入居や就労に関する相談件数 2件 ○民生児童委員や関係機関等を対象にした研修 開催回数 7回 <p>(別表34)P57</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○「長野市生活就労支援センター“まいさぼ長野市”」の相談利用者が増加し、具体的な支援や自立につながるケースが増えている。 ○まいさぼにおいて、日常生活自立支援事業、暮らしのあんしんサービス事業、成年後見支援センター事業の初期相談窓口を開設し、総合的な相談支援の取り組みが推進できた。 ○民生児童委員が抱える困難ケースの相談に応じることで、制度の狭間にある相談に対応することができた。
<p>相談事業等で把握された既存の制度やサービスにはあてはまりにくいニーズに対してふれあい、交流の場を提供を通じ支援を実施する。</p>	<p>寄せられた相談の中から、様々な理由で外出や交流の機会が持ちにくい方を対象に心身のリフレッシュを図るとともに、相談のひとつの形態として、個々が抱える課題解決を図るために3種のメニューによりデイケアを実施した。</p> <p>(別表35)P57</p> <p>〔実績〕</p> <ul style="list-style-type: none"> ○煎茶デイケア 8回 延べ53人(H28 9回 延べ65人) ○ちぎり絵デイケア 20回 延べ50人(H28 23回 延べ81人) ○書道デイケア 47回 延べ276人(H28 47回 延べ277人) <p>また、当事者交流の場として、男性同士の交流を促すため料理教室等を行った。</p> <p>〔実績〕</p> <ul style="list-style-type: none"> ○一人暮らし高齢者いきいき料理教室の開催 3回 延べ32人(H28 3回 延べ31人) ○男性の料理教室 (前期)4回 延べ74人(H28 4回 延べ70人) (後期)4回 延べ51人(H28 4回 延べ59人) ○その他(各1回開催) 包丁研ぎ(2回開催)27人(H28 13人)、大掃除9人(H28 6人)、おやき作り7人、ジンギスカン作り6人、そば打ち5人、メンズ・クラフト・カフェ9回、料理教室フォローアップ(4回開催)31人 	<ul style="list-style-type: none"> ○「長野県あんしん創造ねっと事業」に参加、協力することで、入居保証等狭間のニーズへの取り組みが推進できた。
<p>介護・福祉・保健・医療に関する総合相談窓口として設置された機関。社会福祉士・保健師・主任ケアマネジャーなどの専門職員を配置し、高齢者の皆さんが住み慣れた地域で安心して生活が送れるよう支援する。</p>	<p>安茂里・豊野サブセンター・吉田の3事業所で受託。それぞれの事業所において認知症カフェの運営を支援した。</p> <p>(別表36)P58</p>	
<p>地域包括支援センターの行う業務を補い、地域の身近な相談窓口として、在宅介護等に関する総合的な相談に応じ、福祉や保健などのサービスを提供するために地域内の関係機関との連絡調整を行う。</p>	<p>鬼無里・大岡の2事業所で受託。高齢者実態把握、介護者教室等を開催した。</p> <p>(別表37)P60</p>	

事業理念3 状況に応じた柔軟で迅速な取組の実施

運営方針ア 地域に開かれた組織として、情報の公開や発信を行うとともに、住民からの意見を聴く仕組みをつくり、

基本施策	重点目標	重点実施項目	No.	実施事業
基本施策 3-ア-01 広報広聴活動の充実	○本会が発行している広報誌やホームページなどを活用し、広報活動の充実に図ります。	○リニューアルするホームページ等により、住民や利用者に分かり易くタイムリーな情報を提供できる体制を整えます。 ○介護サービス事業の広報活動の充実に図り、地域住民へ丁寧で新鮮な情報発信、情報提供を行います。[広報活動]	77	広報活動 【総務課】【地域福祉課】 【介護サービス課】
			78	苦情対応 【総務課】

運営方針イ 制度の狭間にある福祉課題を把握し、地域の福祉ニーズに対応した新たな取り組みを迅速かつ柔軟に

基本施策	重点目標	重点実施項目	No.	実施事業
基本施策 3-イ-01 総合力を活かした事業の展開	○組織内の各部署において潜在する課題を横断的に把握し、解決できる体制を構築します。	○三課を横断したプロジェクトチームで具体的な問題や課題の解決方法を議論しながら、新たなサービスの開発に取り組みます。 ○事業報告の作成にあわせ、第二次総合計画に沿って事業等が進んでいるか評価を行います。 [課題解決プロジェクト]	79	課題解決プロジェクト 【総務課】
			80	長野ブロック社会福祉協議会 関連事業

運営方針ウ 災害等の緊急時に対応できる支援体制を構築します。

基本施策	重点目標	重点実施項目	No.	実施事業
基本施策 3-ウ-01 災害時等に迅速・柔軟に対応できる体制の整備	○災害時やその他の緊急時に、利用者や職員の安心と安全が確保される体制を検討します。	○災害対応マニュアルや事業継続計画について、法人全体及び事業・サービスごとに必要性を検討し、作成に向けた取り組みを進めます。 ○長野県社協が主導する「県内社協職員災害初動時における先遣チーム(DSAT)の活動に協力します。	81	災害対応マニュアル等の作成
			82	県内社協職員災害初動時先遣チーム(DSAT)への参加

地域福祉ニーズの評価を行います。

事業概要	事業実績	重点目標に対する評価
主に以下のような広報誌発行やホームページの運営を行う。 ふくしながの(法人広報誌) 社協案内パンフレット 児童館だより 老人福祉センターだより ボランティアかわら版 社協版「みどりのはがき」 ホームページ(法人、ボランティアセンター)	平成30年2月に法人ホームページのリニューアルを行い、必要な情報をタイムリーに分かりやすく提供できる体制を整えた。 法人全体の広報誌「ふくしながの」を発行し、全世帯に配布したほか、各事業や施設においてパンフレットや広報誌、案内チラシ等を発行した。 〔実績〕 ○ふくしながの発行日及び部数 第69号 5月1日発行 発行部数 156,500部 第70号 1月1日発行 発行部数 156,500部	○全戸配布の「ふくしながの」をはじめ、ボランティアセンターや各施設において広報誌等の発行を行い、本会が行う事業や福祉に関する広報啓発に関し一定の成果を上げることができた。 ○通所介護事業所では、介護者やケアマネジャーなどに向けて広報紙を発行し、提供するサービスや取り組み内容を周知したことで、新規利用者の獲得につながった。
苦情解決に関する規程に基づき、苦情受付・解決体制を整備する。	〔実績〕 ○苦情受付件数 25件(H28 55件) (別表38)P62	

実施します。

事業概要	事業実績	重点目標に対する評価
三課を横断したプロジェクトチームで具体的な問題や課題の解決方法を議論しながら、新たなサービスの開発に取り組む。	第1回(5月30日) 議題:第63回長野市社会福祉大会のテーマと講演会講師の選定について 第2回(11月6日) 議題:①事業評価を踏まえた事業の見直しと新規事業の構築について ②第二次総合計画の中間評価の方法等について	○総合計画の中間評価を含めた進捗管理については、具体的な議論を行うことができた。
他市町村との連携を図るため、本市周辺の社会福祉協議会で構成されている長野ブロック社協(9市町村)が行う職員研修へ参加する。	信州発ボランティア・地域活動フォーラム 開催日 平成29年10月28日(土) 場所 上山田文化会館、千曲市総合観光会館 内容 講演会、事例発表、分科会等 上記開催のため、担当者会議4回、実行委員会6回に参加した。	○本市周辺の9市町村社会福祉協議会と情報交換や福祉課題の共有を図ることにより、職員の視野の拡大やモチベーション向上につながった。

事業概要	事業実績	重点目標に対する評価
現在の本会職員災害対応マニュアルを現実に即した内容に改め、災害時に備える。	平成20年度に策定した本会職員災害対応マニュアルについて、内容を全面的に見直すとともに災害時における事業継続計画(BCP)をマニュアルに位置付け、12月1日から施行した。	○災害対応マニュアルの改訂により、災害発生時に本会が取り組むべき業務と、復旧・復興時における事業継続に向けての手順を明確に定めることができた。
県内で災害が発生した際の初動対応に備えるため、長野県社協が主導するDSATに参加する。	長野県社協の主導によりDSATが4月1日に発足し、メンバーの知識や技能を高めるため研修等に参加した。 (別表39)P62	

経営理念1 地域住民に分かりやすい機能的な組織体制の確立

経営方針ア 地域福祉を推進する民間団体として、会員や理事、評議員等の果たすべき役割を明確にし、主体的な

基本施策	重点目標	重点実施項目	No.	実施事業
	○経営組織を見直したことに伴い、新体制への円滑な移行を図ります。			

経営方針イ 地域住民一人ひとりに身近な組織を目指すため、地域における総合相談体制・生活支援体制を強化・

基本施策	重点目標	重点実施項目	No.	実施事業
	○市民一人ひとりがその人らしく安心して生活できる体制整備を図るため、日常生活自立支援事業及び暮らしのあんしんサービス事業の実施場所の整備を図ります。(事業理念2運営方針ウに関連)	○各センターにおいて通帳管理、生活支援員の勤怠管理等を実施し、生活支援員の支援拠点として整備します。	83	日常生活自立支援事業及び暮らしのあんしんサービス事業 拠点の整備事業 【地域福祉課】

経営方針ウ 専門性の高い、地域住民から信頼される職員を育成するなど、適切な人事管理を行います。

基本施策	重点目標	重点実施項目	No.	実施事業
	○第二次総合計画に掲げた事業理念及び経営理念を全ての職員が理解し共有できるよう、内部研修等の取り組みを進めます。		84	職員研修 【総務課】【地域福祉課】【介護サービス課】

経営判断を行うことのできる組織体制を構築します。

事業概要	事業実績	重点目標に対する評価
		改正社会福祉法及び本会定款に基づき評議員及び役員等を選任し、円滑に新体制への移行をすすめることができた。

確立します。

事業概要	事業実績	重点目標に対する評価
既存のふれあい福祉センター及びみなみ出張所に加え、本会が管理運営する福祉センター及び老人福祉センターにおいて、サービスの一部を実施する。	利用件数 5件(信州新町福祉センター)	○既存のふれあい福祉センター及びみなみ出張所に加え、本会が管理運営する福祉センター及び老人福祉センターにおいて、日常生活自立支援事業及び暮らしのあんしんサービス事業の一部を継続して実施している。

事業概要	事業実績	重点目標に対する評価
	法人全体及び各所属等において、業務遂行のために必要な研修を実施した。 (別掲P30)	○災害対応やメンタルヘルスに関する研修のほか、各所属がそれぞれ業務に必要な研修を実施し、職員の質の向上を図ることができた。

経営理念2 健全な財政運営の実現

経営方針ア 介護サービス等の自主事業においては、介護保険法や障害者総合支援法等に基づき、質の高い安定

基本施策	重点目標	重点実施項目	No.	実施事業
	○サービスの質の向上と併せて、健全経営のため不採算事業の改善に努めます。	○不採算事業の改善に向けて関係機関と協議します。		

経営方針イ 制度の狭間にある福祉課題を把握し、地域の福祉ニーズに対応した事業を迅速かつ柔軟に実施する

基本施策	重点目標	重点実施項目	No.	実施事業
	○寄附金や賛助会費の用途を明らかにすることで、住民が寄附に取り組みやすい環境を整備します。	○寄附の募集方法や賛助会費の(単価も含めた)制度の見直しについて検討・開発します。	85	寄附・賛助会費の制度見直し【総務課】
86			ふれあい福祉基金の運営【総務課】	
87			ボランティア活動振興基金の運営【総務課】	

経営方針ウ 公共性の高い民間団体として行政や関係機関とも密接に連携し、公費財源を確保したうえで社会福祉

基本施策	重点目標	重点実施項目	No.	実施事業
	○生活困窮支援に関して、既存の制度では対応できない狭間の課題への対応を図ります。	○生活困窮者への支援機関との情報交換等を通じてニーズを把握し、行政等を含め事業の開発や財源の確保について検討します。	88	生活困窮者に対する独自支援の検討【地域福祉課】
			89	住居確保困難者に対する居住支援の検討【地域福祉課】

したサービスが継続できるよう財政運営に努めます。

事業概要	事業実績	重点目標に対する評価
		<p>○通所介護事業所の定員や休館日等を見直したことにより、経営改善につながっている。</p> <p>○中山間地域の不採算事業については、事務局担当者を決め、該当センター職員と一緒に赤字圧縮を進めた。</p> <p>○各事業所において、運営基準等に関する研修を行い、法令順守の意識を高めた。</p>

ため民間財源の確保に努め、さらなる財政状況の透明化を図ります。

事業概要	事業実績	重点目標に対する評価
寄附の募集方法や賛助会費の制度の見直しについて課題解決プロジェクトで検討する。	リニューアルした法人ホームページにおいても、寄附に加え賛助会費の募集について新たに掲載した。	○広報誌「ふくしながの」や法人ホームページにより寄附や賛助会員の募集を行い、寄附に取り組みやすい環境整備に取り組んだ。
地域福祉の向上をめざし、福祉需要の増大及び多様化に対応した事業の推進を図ることを目的とした基金の運営を行う。	積立額:1,359,584円(使途不特定寄附ほか) 取崩額:4,396,376円(介護者支援、日常生活自立支援、共同募金配分金の事業費に充当) 〔H29年度末基金残高〕 150,428,768円(前年度比△3,036,792円)	
地域福祉の向上をめざし、自主的に継続的なボランティア活動の振興を図ることを目的とした基金の運営を行う。	運用益3,174,727円は介護者リフレッシュ事業、ボランティアセンター活動事業の財源として活用した。 〔H29年度末基金残高〕298,191,053円 (前年度比+5,000,000円)	

協議会らしい事業展開ができる体制を行政とともに構築します。

事業概要	事業実績	重点目標に対する評価
緊急性の高い食糧支援のニーズに対応するため社協職員に協力を呼びかけ「社協内フードドライブ」を実施する。	○緊急性の高い課題に対応するため、食料支援としての「社協内フードドライブ」をはじめ、生活に必要な物品の提供を実施し、既存の制度では対応できない支援に取り組んだ。 〔実績〕 支援者数 203人(H28 168人) 被支援者数 319人(H28 113人)	○多くの被支援者から感謝の声をいただいた。継続を望む声が多いが、周知と安定的な運営の仕組みづくりが課題である。
高齢や障害、生活困窮等により住居確保が困難な方に対して、行政と協力して課題の共有や解決策の検討を行う。	○長野市が開催する「新たな住宅セーフティネット制度に伴う住宅確保要配慮者への対応と現状の把握のための打ち合わせ会議」に参加。現状の報告等を行った。 〔実績〕 会議開催回数 2回 参加機関 長野市住宅課 保健福祉部関係課	○住宅確保が困難な方に対する関係機関のネットワークが構築できた。

Ⅱ 経営理念に関する別掲資料

1 会務の運営

会務の運営は、理事会及び評議員会に諮りながら推進し、監事の指導及び監査により執行の適正を期した。

(1) 理事会の開催

【第1回理事会】 平成29年5月25日(木) 午後2時00分～午後3時27分

長野市ふれあい福祉センター 4階3会議室

- | | |
|--------|--|
| 報告第1号 | 評議員の選任について |
| 報告第2号 | 平成28年度社会福祉法人長野市社会福祉協議会補正予算の専決について |
| 報告第3号 | 社会福祉法人長野市社会福祉協議会訪問介護事業所設置規程の一部を改正する規程の専決について |
| 報告第4号 | 社会福祉法人長野市社会福祉協議会訪問看護事業所設置規程の一部を改正する規程の専決について |
| 議案第11号 | 平成28年度社会福祉法人長野市社会福祉協議会事業報告 |
| 議案第12号 | 平成28年度社会福祉法人長野市社会福祉協議会決算 |
| 議案第13号 | 社会福祉法人長野市社会福祉協議会定款の一部を改正する定款 |
| 議題第14号 | 評議員選任・解任委員の補充選任について |
| 議題第15号 | 評議員補充選任候補者の推薦について |
| 議題第16号 | 参与の選任について |
| 議題第17号 | 理事・監事選任候補者について |
| 議題第18号 | 定時評議員会の開催について |

【第2回理事会】 平成29年6月8日(木) 午後1時59分～午後2時20分

長野市ふれあい福祉センター 5階ホール

- | | |
|--------|---------------------|
| 議案第19号 | 会長、副会長及び常務理事の選任について |
| 報告第5号 | 評議員の補充選任について |

【第3回理事会】 平成29年7月11日(火) 午後4時00分～午後4時25分

ホテルメトロポリタン長野 3階 戸隠

- | | |
|--------|------------------------------------|
| 議案第20号 | 社会福祉法人長野市社会福祉協議会個人情報保護規程の一部を改正する規程 |
| 議案第21号 | 社会福祉法人長野市社会福祉協議会経理規程の一部を改正する規程 |
| 議案第22号 | 第63回長野市社会福祉大会の開催について |

【第4回理事会】 平成29年10月23日(月) 午前10時00分～午前11時8分

長野市ふれあい福祉センター 4階会議室3

- 議案第23号 補欠理事の選任候補者について
- 議案第24号 平成29年度第2回評議員会の決議の省略について
- 報告第6号 社会福祉法人長野市社会福祉協議会有期雇用職員就業規則の一部を改正する規則の専決について
- 報告第7号 会長、常務理事の職務執行状況について
- 報告第8号 平成29年度上半期事業の進捗状況等について

【第5回理事会】 平成30年3月19日(金) 午前10時00分～11時50分
長野市ふれあい福祉センター 4階会議室3

- 議案第1号 平成30年度社会福祉法人長野市社会福祉協議会事業計画
- 議案第2号 平成30年度社会福祉法人長野市社会福祉協議会予算
- 議案第3号 社会福祉法人長野市社会福祉協議会有期雇用職員就業規則の一部を改正する規則
- 議案第4号 社会福祉法人長野市社会福祉協議会職員の給与規程の一部を改正する規程
- 議案第5号 社会福祉法人長野市社会福祉協議会経理規程の一部を改正する規程
- 議案第6号 平成29年度第3回評議員会の招集について
- 報告第1号 会長、常務理事の職務執行状況について
- 報告第2号 平成29年度下半期事業の進捗状況等について

(2) 評議員会の開催

【第1回評議員会】 平成29年6月8日(木) 午前9時58分～午前11時37分
長野市ふれあい福祉センター 5階ホール

- 報告第1号 評議員の選任について
- 報告第2号 評議員選任・解任委員の補充選任について
- 報告第3号 評議員の補充選任について
- 報告第4号 参与の選任について
- 報告第5号 平成28年度社会福祉法人長野市社会福祉協議会補正予算の専決について
- 議案第5号 平成28年度社会福祉法人長野市社会福祉協議会事業報告
- 議案第6号 平成28年度社会福祉法人長野市社会福祉協議会決算
- 議案第7号 社会福祉法人長野市社会福祉協議会定款の一部を改正する定款
- 議案第8号 役員を選任について

【第2回評議員会（決議の省略による）】

- 評議員会の決議があったとみなされた日 平成29年11月1日
- 議案第9号 補欠理事の選任について

【第3回評議員会】 平成30年3月27日(火) 午後2時00分～午後3時13分
長野市ふれあい福祉センター 5階ホール

- 議案第1号 平成30年度社会福祉法人長野市社会福祉協議会事業計画

議案第2号 平成30年度社会福祉法人長野市社会福祉協議会予算
報告第1号 平成29年度事業の進捗状況について

(3) 正副会長会の開催

【第1回正副会長会】 平成29年7月11日(火) 午後3時～

ホテルメトロポリタン長野 3階 飯綱

- 議 題 (1) 第3回理事会の議事について
(2) 第63回長野市社会福祉大会 顕彰者の審査について
(3) 当日の次第について
(4) その他

(4) 評議員選任・解任委員会の開催

【第1回評議員選任・解任委員会(書面決議)】 決議日 平成29年6月8日(金)

議案第2号 評議員の補充選任について

(5) 事業及び会計の監査

【平成28年度監査】 平成29年5月15日(月)・16日(火)

長野市ふれあい福祉センター 2階会議室2

- 監査対象 ア 平成28年度社会福祉法人長野市社会福祉協議会事業及び業務
執行状況
イ 平成28年度社会福祉法人長野市社会福祉協議会決算

2 役員研修の実施

(1) 長野県内社会福祉協議会トップセミナーへの参加

ア 期 日 平成30年2月20日(火) 13:00～15:30

イ 会 場 長野バスターミナル会館 国際ホール(長野市中御所岡田178-2)

ウ 主 催 社会福祉法人長野県社会福祉協議会

エ 参 加 者 15人(役員・評議員等)

オ 概 要

(ア) 講 演 「地域共生社会と社会福祉法人への期待」

講 師 野沢 和弘 氏(厚生労働省地域力強化検討会委員、毎日新聞論説委員)

(イ) 行政説明 「地域共生社会の実現に向けた県の施策について」

長野県健康福祉部地域福祉課 課長 滝沢 弘 氏

(ウ) 県社協説明 「地域共生社会の実現に向けた社会福祉協議会の対応について」

長野県社会福祉協議会 常務理事 青柳 郁生 氏

(2) 第66回長野県社会福祉大会への参加

ア 期 日 平成29年9月13日(水)

イ 会 場 佐久市コスモホール(佐久市下小田切124-1)

ウ 参加者数 13人（理事・評議員等）

エ 概要

（ア）式典（表彰、共同募金に対する謝辞）

（イ）実践報告

①「福祉ネットワーク活動について～みんなで支え合う地域を目指して～」

佐久市志賀下宿区区长 神津 忠治 氏

②「人は人と生きてこそ人」

NPO法人 Happy Spot Club 代表理事 高山 さや佳 氏

（ウ）講演

演題 「笑顔の地域活動 ～落語家が語るコミュニケーションの極意～」

講師 三遊亭 多歌介 氏

（エ）共同募金会PR・大会アピール

3 職員研修の実施

（1）法人全体の研修（3課共通）

実施日	内容	対象者	参加者数
平成29年4月3日（月）、 平成29年8月1日（火）	新規採用職員研修	新規採用職員（一部嘱託職員等を含む）	17人
平成29年6月15日（木）から 平成29年12月26日（木） の間で4回参加	安全運転管理者等講習 主催：安全運転管理者協会	各事業所安全運転管理者及び副安全運転管理者（所長等）	14人
平成30年1月15日（月）	管理職員メンタルヘルス研修 「聴くことの大切さ」 講師：シニア産業カウンセラー 清水千恵子氏	管理職及び係長以上の職員	51人
平成30年1月17日（水） 午前・午後2回開催	災害対応マニュアル研修	本部事務局（ふれあい）所属職員	70人
平成30年2月26日（月）	退職者セミナー	平成29・30年度 定年退職予定者	5人
毎月（第二火曜日実施）	メンタルヘルス個別研修 担当：日本産業カウンセラー協会 上信越支部長野事務所	全職員のうち希望者	延べ36人

（2）児童館・児童センター、子どもプラザ職員研修

実施日	内容	対象者	参加者数
平成29年4月17日（月）	館長・施設長研修 「尻上がりに輝く生き方」	館長、施設長	79人

実施日	内 容	対象者	参加者数
平成 29 年 6 月 6 日 (火)	第 1 回支援員研修 「放課後子ども総合プランについて」 「困った子」は「困っている子」 実は可愛い子です	支援員	91 人
平成 29 年 7 月 11 日 (火)	第 2 回支援員研修 「放課後子ども総合プランについて」 「尊い命と財産を守るために」	支援員	86 人
平成 29 年 9 月 4 日 (月)	第 3 回支援員研修 「放課後子ども総合プランについて」 「支援員としての人権感覚と役割等」 「放課後の子どもたちの居場所が 『安心な場』であるために」	〃	91 人
平成 29 年 10 月 13 日 (金)	第 4 回支援員研修 「放課後子ども総合プランについて」 「事例研修」 「職員や子どもたちのメンタルヘルス パートⅡ」	〃	86 人

(3) 介護サービス課職員研修

実施日	内 容	対象者	参加者数
平成 29 年 4 月 3 日 他年間 2 回	ステップアップ (1 年目)・認知症・接遇 研修	新規採用者	18 人
平成 29 年 4 月 13 日 他年間 1 回	認定調査員研修	介護支援専門員	7 人
平成 29 年 5 月 16 日～ 7 月 11 日	認知症介護実践者研修	通所介護員	3 人
平成 29 年 5 月 16 日～ 8 月 24 日	サービス提供責任者研修	訪問介護員	3 人
平成 29 年 6 月 9 日	所長補佐研修	所長補佐	4 人
平成 29 年 6 月 10 日～ 7 月 31 日	介護福祉士実習指導者講習会	介護員	1 人
平成 29 年 6 月 13 日～ 8 月 9 日	主任ケアマネ更新研修	介護支援専門員	9 人
平成 29 年 6 月 15 日 他年間 2 回	山下総司氏 通所介護業務改善研修	通所介護員他	

実施日	内 容	対象者	参加者数
平成 29 年 7 月 延べ 4 日間	安全運転研修	通所運転手他	12 人
平成 29 年 7 月 14 日	生活支援サービス体制づくり研修	課長補佐 係長	2 人
平成 29 年 7 月 16 日 他年間 1 回	応急手当普及員研修	介護員他	5 人
平成 29 年 7 月 26 日	介護支援専門員全体研修	介護支援専門員	50 人
平成 29 年 7 月 26 日～ 12 月 20 日	主任介護支援専門員研修	介護支援専門員	8 人
平成 29 年 8 月 4 日、8 月 5 日	認知症対応型管理者研修	通所介護員	3 人
平成 29 年 9 月 15 日	介護支援専門員実習指導者養成研修	介護支援専門員	3 人
平成 29 年 9 月 21 日	障害福祉サービス事業所職員スキルアップ研修	訪問介護員	11 人
平成 29 年 10 月 16 日 、10 月 23 日	同行援護従事者研修	介護員他	17 人
平成 29 年 10 月 18 日	障害者虐待防止・権利擁護研修	訪問介護員	8 人
平成 29 年 10 月 23 日	苦情対応システム研修	管理者他	4 人
平成 29 年 11 月 8 日、 11 月 15 日	個別機能訓練研修	通所 看護師・ 介護員	50 人
平成 29 年 11 月 9 日	認知症に関する医療知識研修	看護師	9 人
平成 29 年 11 月 16 日	介護支援専門員全体研修	介護支援専門員	55 人
平成 29 年 11 月 21 日	福祉職員生涯研修（後輩育成）	介護員他	6 人
平成 29 年 11 月 28 日	評価者（アセッサー）研修	通所・訪問介護 員	2 人
平成 29 年 12 月 5 日	コミュニケーション術研修	管理者他	3 人
平成 29 年 12 月 15 日	介護支援専門員全体研修	包括・介護支援 専門員	50 人

実施日	内 容	対象者	参加者数
平成 30 年 1 月 11 日 他年間 5 回	ステップアップ（3 年目）研修	介護員	380 人
平成 30 年 2 月 27 日	介護保険改正経験交流会研修	管理者他	6 人

（４）地域福祉課職員研修

実施日	内 容	対象者	参加者数
7 月及び 9 月 延べ 17 日	地域たすけあい事業の運転協力会員、安全運転研修	地域たすけあい事業協力会員	187 人
8 月 3 1 日（木）	きぼう相談員の資質向上を目的とした研修会	きぼう相談員	10 人
9 月 5 日（火） 1 1 月 1 3 日（月） 1 1 月 2 1 日（火）	コミュニケーションの基本 日頃の支援について① 日頃の支援について②	日常生活自立支援事業・暮らしのあんしんサービス事業担当職員及び支援員	44 人
1 月 2 6 日（金）	今後の連携に向け、法テラス長野の業務等についての研修	まいさぼ長野市の職員	15 人

Ⅲ 事業実績（資料）

事業理念1

住民参加・協働による福祉を基盤としたまちづくり

運営方針 ア 実績資料

別表1（事業No.4）福祉のまちづくりを進めるための実践事業及び小地域福祉懇談会助成事業実績

事業名	実施数	助成金額
(1)福祉のまちづくり啓発事業	27 地区	790,961 円
(2)地域福祉懇談会事業	20 地区	542,646 円
(3)介護者支援事業	24 地区	506,327 円
(4)福祉推進員活動事業	24 地区	661,752 円
(5)男性地域デビュー促進事業	21 地区	380,000 円
(6)きぼうの旅事業	14 地区	683,680 円
(7)サロン事業	684グループ	6,661,623 円
(8)福祉自動車運行事業	25 地区	7,500,000 円
(9)子育て・子育て支援事業	20 地区	889,301 円
(10)地区独自課題対応事業	27 地区	1,246,941 円
合 計		19,863,231 円 (20,201,253 円)

※（ ）内数字は、平成28年度

別表2（事業No.9）社会を明るくする運動推進事業実績

1 各地区助成状況一覧

地区名	助成回数	作文発表	講演会	映画会	懇談会	演奏会 等発表	PR他	住民集会 参加者数	地区推進 委員会
第一	1								6/21
第二	1		7/21						7/21
第三									
第四									
第五							7/3		
芹田	2		7/21					192	6/14
古牧	2	7/22	7/22					110	6/17
三輪									
吉田	2		7/14			7/14		58	6/15
古里	1		7/22					96	6/9
柳原	2		7/23	7/23				49	3回

地区名	助成回数	作文発表	講演会	映画会	懇談会	演奏会 等発表	P R 他	住民集会 参加者数	地区推進 委員会
浅 川	2	7/30	7/30			7/30		140	6/14
大豆島	2			7/1	7/1			70	5/19
朝 陽									
若 槻	2	7/22	7/22					130	3 回
長 沼	2		7/12					102	6/16
安茂里	2		6/26					80	5/12
小田切	1								4/5
芋 井	2		9/9			7 月		54	6/22
篠ノ井	2		4 回	11/11			11/11	565	2 回
松 代	2	7/22	7/22					126	6/16
若 穂	2				7/8	2 回		640	6/20
川中島	2						7/5	34	6/12
更 北									
七二会	2		7/10					80	5/23
信 更	2	12/2	12/2					56	6/23
豊 野	2	12/2	12/2			12/2		106	6/2
戸 隠	2						11/5	210	6/15
鬼無里	1								7 月下旬
大 岡	2		2 回				2 回	98	6/29
信州新町									
中 条	1								6/30
合 計	25 地区 44 回	6 地区	17 地区	3 地区	2 地区	5 地区	5 地区	2,996 人	25 地区 30 回
(参考) 28 年度	28 地区 49 回	6 地区	17 地区	2 地区	0 地区	6 地区	3 地区	2,377 人	26 地区 31 回

※地区推進委員会 1 回につき 5,000 円、地区住民集会 1 回につき 15,000 円以内を助成した。

2 広報活動の実施

- (1) 有線放送、各地区での広報活動等、周知を図るための活動を行った。
- (2) 挨拶ポスター1,200 枚を各行政区、学校関係（小・中・高・特殊諸学校）、市役所、市社協、児童館に配布した。

別表3 (事業No.10) 災害見舞金事業実績

(金額:円)

種別	区分	件数	市社協 @10,000	県共募 @10,000 (@5,000)	日赤 県支部 @10,000	合計	
住宅 罹災	火災	全焼	8	80,000	80,000	毛布(6枚)	160,000
		半焼	2	20,000	20,000	毛布(1枚)	40,000
		集合住宅	0	0	0	0	0
	災害	全壊	1	10,000	10,000	0	20,000
		半壊	0	0	0	0	0
		床上浸水	0	0	0	0	0
小計		11	110,000	110,000	毛布(7枚)	220,000	
事故 死等	交通事故	4	40,000			40,000	
	その他事故	3	30,000			30,000	
	火災死亡	4	40,000	40,000	40,000	120,000	
	小計	11	110,000	40,000	40,000	190,000	
合計		22	220,000	150,000	40,000	410,000	
(参考)平成28年度		23	230,000	100,000	0	330,000	

※県共同募金会の見舞金()内は、下宿・寄宿舍・病院等で罹災の場合に適用します。

運営方針 イ 実績資料

別表4 (事業No.11) 地域たすけあい事業実績

(単位:件・人)

項目		年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度
サービス総実施件数			44,578	42,805	40,778
内 訳	家事援助サービス		3,379	3,395	3,718
	福祉移送サービス		41,199	39,410	37,060
利用会員数			3,071	3,294	3,212
協力会員数			592	544	543

別表5 (事業No.18、36) 第63回長野市社会福祉大会の開催実績

- 1 期 日 平成29年8月29日(火)
- 2 会 場 長野市ふれあい福祉センター 5階ホール
- 3 参加者数 約150人
- 4 概 要
 - (1) 式典 14:00~14:40

顕彰(社会福祉関係功労者等に対し、大会壇上において顕彰した。)

 - ア 社会福祉功労者 29人
 - イ 優良住民自治協議会等 2地区

ウ 社会福祉事業協助者（感謝） 22人（団体等含む）

(2) 説明 14:50~14:55

内容 フードドライブについて

説明者 NPO 法人フードバンク信州 美谷島 越子 氏

(3) 講演 14:55~16:25

演題 生まれてきてよかったと思える社会を

講師 湯浅 誠 氏（社会活動家、法政大学教授）

運営方針 ウ 実績資料

別表6（事業No.22、23、25）老人福祉センター等管理経営事業等の実施実績

1 高齢者生きがいづくり事業及びボランティアコーディネート事業実績

項目 施設	年間件数					年間利用者数(人)		
	教養・生きがいづくり講座	地域福祉活動	グループ・団体活動	その他の事業	計	平成27年度	平成28年度	平成29年度
三陽	180	470	753	980	2,383	16,144	19,545	17,939
安茂里	219	343	499	214	1,275	13,520	13,463	14,842
篠ノ井	220	224	446	429	1,319	12,193	13,966	13,647
氷鉦	221	352	1,347	588	2,508	26,753	26,864	25,219
戸隠	—	—	—	—	—	1,119	1,176	—
鬼無里	87	25	49	157	318	3,693	2,655	3,541
信州新町	380	20	272	233	905	7,055	6,763	6,910
中条	99	174	15	305	593	3,273	3,928	3,647
合計	1,406	1,608	3,381	2,906	9,301	83,750	88,360	85,745

※延べ実施回数及び人数

※戸隠は平成29年度より長野市の直営となり、平成28年度末で当会での管理経営は終了。

2 氷鉦老人憩の家利用実績

年度別	平成27年度	平成28年度	平成29年度
利用者数	17,116	15,967	14,599

※延べ人数

別表7（事業No.30）ボランティアコーディネーターによるコーディネート事業実績

1 件数

項目	平成27年度	平成28年度	平成29年度
相談・調整件数	23,565	21,131	20,656

2 内訳

項 目		平成27年度	平成28年度	平成29年度
調整 ケ- ース 件 数	ボランティアしたい	389	391	333
	ボランティア求む	341	544	514
	情報求む	372	279	457
	ボランティア活動支援	774	725	521
	ボランティア活動上の悩み	38	64	47
	よろず相談・悩み	60	83	103
	ボランティア保険・事故処理	43	31	48
	ボランティアセンター事業	—	—	286
	福祉共育	—	—	28
	ボランティア活動要請	—	—	40
	寄付関係	—	—	223
	その他	200	—	—
	計	2,217	2,117	2,600
簡 易 相 談 件 数	情報提供	3,913	2,932	2,558
	チラシ・掲示	1,010	754	701
	機材貸出	2,635	1,702	1,696
	会議室予約	3,978	2,886	2,797
	伝言	2,731	1,102	1,096
	よりいい会	3,606	6,834	6,305
	その他	3,475	2,804	2,903
	計	21,348	19,014	18,056
合 計	23,565	21,131	20,656	

別表8（事業No.30）ボランティア活動機材の貸し出し事業実績

機材名	件数	機材名	件数	機材名	件数
車椅子	124件 (322台)	アイマスク	22件 (847枚)	白杖	19件 (436本)
点字板	19件 (472枚)	PCプロジェクター	43件	ラジカセ	5件
ワイヤレスアンプ	11件	DVDプレーヤー	0件	コピー機	852件
印刷機	626件	綿飴・ポップコーン	24件	その他	88件 (307個)

別表9（事業No.31）まちの縁側づくり事業及びコーディネーター力養成講座実施事業実績

日時	内 容	講師	人数
5月22日	ボランティアとは ボランティアが果たす役割の理解、ボラン ティアだからこそその価値を知る	筒井のり子氏	22人

日時	内 容	講師	人数
6月21日	現場を知る 長野市で今どんな問題がおき、どのような活動が生まれているのか (地域福祉推進セミナー同時開催)	井岡 仁志氏	270人
6月22日	地域資源と繋がろう！ 地域資源とは？地域の資源を知り、繋がる意味を学習する	井岡 仁志氏	24人
7月15日	ボランティア受け入れの心構え 施設でボランティアを受け入れるマネジメントを学ぶ(オプション)	唐木理恵子氏	30人
9月5日	聴く力・受け止める力 コミュニケーションに基本でもある聴く力・受け止める力を身に付ける	末松 渉氏	72人
9月20日	まあるい会議の作り方(オプション) ファシリテーショングラフィック講座 参加者全員が発言でき、全員の意見が生かされるまあるい会議の開き方を学ぶ	名畑 恵氏	50人
9月21日	【まちの縁側講座】居場所づくり 地域のお宝(資源)を発見、訪ねてみよう 川中島地区：川中島地区住民自治協議会共催	延藤 安弘氏	55人
10月26日	ボランティアコーディネーションを学ぶ ボランティアコーディネーターの役割、意味、目指すもの	筒井のり子氏	12人
12月3日	グループリーダー研修会 グループからチームへ 安定・継続したチームの作り方を学ぶ	山室 秀俊氏	30人
12月18日	活動計画・イベント計画を作ろう ボランティアを仕掛ける、集める、創り出す	山崎 富一氏	18人
(合計)	10講座		583人

別表10(事業No.33) 児童館・児童センター・放課後子どもプラザの管理経営事業実績

1 児童館の管理経営状況(児童センター32館、児童館7館) (単位:人)

No.	名 称	平成27年度		平成28年度		平成29年度	
		登録児童数	年間延べ利用児童数	登録児童数	年間延べ利用児童数	登録児童数	年間延べ利用児童数
1	箱清水 児童センター	89	8,995	90	9,390	93	11,076
2	長野中央 児童館	33	6,275	32	5,514	40	6,130
3	加茂 児童センター	53	9,210	68	10,189	68	11,458
4	芹田 児童センター	169	30,058	186	28,927	192	28,754
5	古牧 児童センター	94	19,171	115	21,062	140	24,819
6	日詰 児童館	66	10,337	65	8,498	56	8,165
7	三輪 児童センター	125	24,867	141	26,201	154	27,863
8	裾花 児童センター	84	12,203	89	12,704	79	12,071

No.	名 称	平成 27 年度		平成 28 年度		平成 29 年度	
		登録 児童数	年間延べ 利用児童数	登録 児童数	年間延べ 利用児童数	登録 児童数	年間延べ 利用児童数
9	柳町 児童センター	76	14,508	70	13,156	78	15,640
10	湯谷 児童センター	96	15,921	92	13,979	78	13,826
11	南部 児童センター	107	22,670	121	20,847	109	17,524
12	大豆島 児童センター	272	45,406	237	38,531	245	41,041
13	朝陽 児童センター	104	19,811	119	20,682	128	19,338
14	柳原 児童センター	99	19,979	84	14,733	84	15,847
15	長沼 児童センター	42	9,010	49	10,186	54	11,661
16	古里 児童センター	195	25,284	199	26,425	222	29,349
17	若槻 児童館	56	9,793	61	11,299	69	10,930
18	徳間 児童センター	114	23,648	107	21,657	108	22,777
19	浅川 児童センター	52	8,091	63	7,156	58	4,918
20	芋井 児童センター	20	4,255	20	4,167	21	4,490
21	安茂里 児童センター	103	15,653	99	13,868	105	15,409
22	松ヶ丘 児童センター	54	10,016	55	8,896	67	11,132
23	篠ノ井中央児童センター	127	21,942	129	21,435	136	24,102
24	篠ノ井東 児童センター	94	16,626	101	17,223	100	16,269
25	篠ノ井西 児童センター	95	17,434	82	16,335	89	16,551
26	共和 児童センター	130	27,866	144	28,683	144	28,890
27	塩崎 児童館	64	10,227	67	9,913	71	11,958
28	松代花の丸児童センター	102	20,047	97	18,778	94	17,483
29	豊栄 児童館	34	4,899	38	5,841	41	5,892
30	松代東条 児童センター	68	13,607	66	13,681	53	10,210
31	綿内 児童センター	119	19,259	118	20,422	125	21,207
32	川田 児童館	99	17,144	99	17,480	98	16,207
33	保科 児童センター	68	8,690	75	9,590	81	7,814
34	昭和 児童センター	160	31,250	184	34,469	175	32,401
35	川中島 児童センター	117	24,037	120	22,017	121	23,433
36	青木島 児童センター	100	18,383	97	17,133	96	18,456
37	下氷鉦 児童センター	102	19,415	116	20,875	104	18,307
38	三本柳 児童センター	132	26,234	122	25,706	126	24,974
39	真島 児童館	36	6,441	32	5,830	33	6,435
	合 計	3,750	668,662	3,849	653,478	3,935	664,807

※ 登録児童数は各年度 4 月 1 日現在

2 放課後子どもプラザの管理経営状況（プラザ 46 施設）

（単位：人）

No.	名 称	平成 27 年度		平成 28 年度		平成 29 年度	
		登録 児童数	年間延べ 利用児童数	登録 児童数	年間延べ 利用児童数	登録 児童数	年間延べ 利用児童数
1	城山子どもプラザ	124	11,319	145	12,877	167	13,997
2	鍋屋田子どもプラザ	72	7,000	62	5,974	59	5,380
3	加茂子どもプラザ	38	2,795	39	2,053	43	2,232
4	山王子どもプラザ	55	6,504	88	7,906	145	15,583
5	芹田子どもプラザ	94	11,868	115	13,376	119	8,681
6	古牧子どもプラザ	46	5,519	83	10,002	99	11,464
7	緑ヶ丘子どもプラザ	108	17,881	141	20,163	172	20,292
8	三輪子どもプラザ	83	8,428	89	9,631	111	9,973
9	裾花子どもプラザ	125	12,199	145	12,506	164	12,082
10	城東子どもプラザ	43	4,009	62	6,583	62	3,797
11	湯谷子どもプラザ	71	8,860	73	7,760	88	7,154
12	南部子どもプラザ	146	24,772	165	26,785	172	19,021
13	大豆島子どもプラザ	152	16,408	169	17,081	160	15,022
14	朝陽子どもプラザ	67	7,945	81	8,149	96	8,291
15	柳原子どもプラザ	97	10,379	117	11,041	123	10,687
16	古里子どもプラザ	52	3,932	82	5,372	92	6,761
17	若槻子どもプラザ	71	8,197	84	10,159	109	11,495
18	徳間子どもプラザ	74	11,652	115	13,854	131	16,619
19	浅川子どもプラザ	181	11,293	164	9,541	153	8,146
20	安茂里子どもプラザ	47	5,026	60	6,281	63	5,711
21	松ヶ丘子どもプラザ	60	5,126	81	5,752	91	6,723
22	通明子どもプラザ	136	18,819	180	19,606	202	18,086
23	篠ノ井東子どもプラザ	85	12,384	107	13,539	116	13,624
24	篠ノ井西子どもプラザ	234	37,213	282	46,280	286	49,173
25	共和子どもプラザ	81	7,121	103	9,812	116	9,343
26	信里子どもプラザ	61	11,004	53	8,734	48	7,482
27	塩崎子どもプラザ	66	6,410	83	6,524	72	5,930
28	松代花の丸子どもプラザ	17	2,593	29	5,210	35	4,170
29	清野子どもプラザ	37	5,452	42	5,552	43	5,602
30	西条子どもプラザ	34	5,276	34	5,426	41	6,768
31	東条子どもプラザ	40	5,845	38	4,822	38	5,009
32	寺尾子どもプラザ	52	7,456	55	7,196	64	8,782
33	綿内子どもプラザ	11	1,440	15	1,219	24	2,032

No.	名 称	平成 27 年度		平成 28 年度		平成 29 年度	
		登録 児童数	年間延べ 利用児童数	登録 児童数	年間延べ 利用児童数	登録 児童数	年間延べ 利用児童数
34	昭和子どもプラザ	15	1,117	58	6,158	87	6,859
35	川中島子どもプラザ	100	11,484	138	13,847	146	13,704
36	青木島子どもプラザ	66	9,067	71	8,998	71	8,321
37	下氷鮑子どもプラザ	81	8,900	85	8,745	104	10,014
38	三本柳子どもプラザ	100	12,014	110	15,236	125	13,647
39	真島子どもプラザ	43	4,286	42	2,895	36	2,387
40	七二会子どもプラザ	54	4,224	47	3,984	44	4,222
41	信更子どもプラザ	—	—	42	8,251	37	7,310
42	戸隠子どもプラザ	74	6,886	74	7,146	71	6,663
43	鬼無里子どもプラザ	29	4,151	24	4,534	25	5,018
44	大岡子どもプラザ	27	5,689	24	4,734	21	4,043
45	信州新町子どもプラザ	105	11,860	102	12,427	84	9,470
46	中条子どもプラザ	64	6,601	52	5,325	53	6,404
合 計		3,430	408,674	4,050	459,046	4,408	453,174

※ 登録児童数は各年度4月1日現在

※ 平成28年度に信田プラザと更府プラザが統合し信更子どもプラザとなったため、平成27年度の実績は記載していない。

別表 11 (事業No.34) ふれあい福祉センター管理経営事業実績

(単位：件・人)

年 度	件 数								利用者数
	会議室1	会議室2	会議室3	会議室4	研修室	料理実 習室	ホール	合計	合計
23	391	818	740	729	680	302	703	4,363	87,981
24	362	799	775	736	760	282	696	4,410	93,464
25	299	808	763	762	725	274	787	4,398	88,974
26	323	846	789	781	760	274	823	4,596	91,156
27	314	775	673	725	778	239	714	4,218	91,005
28	307	824	722	735	763	295	756	4,402	93,679
29	455	799	724	727	755	300	741	4,501	87,594

別表12 (事業No.35) 賛助会員・寄付者名簿

1 賛助会員 (敬称略)

No.	月 日	会費 (円)	氏 名
1	H29. 12. 15	5,000	匿名
2	H29. 12. 21	10,000	匿名
合計		15,000	

2 寄付者名簿 (敬称略)

No.	月 日	金額 (物品)	氏 名	住 所
1	H29. 5. 10	シルバーカー 1台 ウォーカー 1台	長野市立鬼無里小学校	長野市鬼無里
2	H29. 5. 10	紙おむつ	匿名	
3	H29. 5. 11	20,000	長野モラロジー事務所	長野市平林
4	H29. 5. 29	マッサージ機	匿名	
5	H29. 6. 19	車椅子 1台 介護用人形 2体	フジモトホールディングス株式会社	東京都千代田区
6	H29. 7. 3	3,000	匿名	
7	H29. 6. 5	25,000	長野県中小企業団体中央会長野支部	長野市岡田
8	H29. 6. 5	25,000	連合長野 長野地域協議会	長野市県町
9	H29. 6. 8	25,000	株式会社八十二銀行 八十二ボランティアクラブ	長野市岡田
10	H29. 6. 8	25,000	長野商工会議所	長野市七瀬中町
11	H29. 6. 30	25,000	公益社団法人長野青年会議所	長野市七瀬中町
12	H29. 6. 30	25,000	株式会社 TOSYS	長野市北長池
13	H29. 7. 27	4,624	長野県厚生農業協同組合連合会 南長野医療センター新町病院	長野市信州新町 上条
14	H29. 7. 28	3,000	玄証院 福島 貴和	長野市元善町
15	H29. 8. 8	中古車 1台	匿名	
16	H29. 8. 9	業務用シャンプー93本	(株)日興商事 うるおい館	長野市妻科

17	H29. 9. 12	シャンプー詰替用 18 袋	匿名	
18	H29. 9. 19	未使用タオル等 18 箱	匿名	
19	H29. 10. 19	未使用タオル 40 本	大和リース株式会社長野営業所	長野市吉田
20	H29. 11. 17	6,840	NTT 労組退職者の会 長野地区協議会	長野市新田町
21	H29. 11. 15	10,000	匿名	
22	H29. 12. 8	500,000	宗教法人真如苑信越本部	長野市吉田
23	H29. 12. 6	10,000	匿名	
24	H29. 12. 12	100,000	長野市ママさんバレーボール連盟	長野市吉田
25	H29. 12. 14	車椅子 1 台	長野県長野工業高等学校 機械科	長野市安茂里 差出南
26	H29. 12. 20	車椅子 2 台	小さな親切運動長野支部	長野市岡田
27	H29. 12. 3	30,000	匿名	
28	H30. 1. 25	未使用タオル 321 本	公益社団法人生命保険ファイナンシャルアドバイザー協会長野県協会	長野市南千歳
29	H30. 1. 31	5,500,000	匿名	
30	H30. 3. 8	106,800	長野県労働金庫長野東支店運営委員会	長野市高田
31	H30. 3. 9	500,000	匿名	
32	H30. 3. 9	歩行器 1 台	長野市立鬼無里小学校	長野市鬼無里
合計件数(金額)				7,706,874
うち物品受付(金額換算)				762,610
うち現金受付(金額)				6,944,264

別表 13 (事業No.37) 共同募金運動協力事業実績

項目	年度		
	平成 27 年度	平成 28 年度	平成 29 年度
目 標 額	58,387,000 円	58,467,000 円	58,347,000 円
実 績 額	58,524,828 円	58,261,925 円	56,474,349 円
達 成 率	100.24%	99.65%	96.79%

別表 14 (事業No.38) 共同募金配分金事業実績

共同募金における市社協にかかる配分を行った。

(募金年度：平成28年度、予算執行年度：平成29年度)

当初の計画		実績に基づく配分	
募金目標	58,467,000円	募金実績	58,261,925円
県への配分	25,492,000円	県への配分	25,492,000円
市への配分	32,975,000円	市への配分	※ 32,769,925円
		※ うち 市社協配分額	24,860,824円
		うち 住自協配分額	7,909,101円

別表 15 (事業No.38) 法外援護事業実績

(金額：円)

年 度	行旅困難者旅費		行旅困難者医療費		簡易宿泊費		合計	
	人 員	金 額	人 員	金 額	人 員	金 額	人 員	金 額
平成23	80	60,390	3	35,068	0	0	83	95,458
平成24	74	91,110	0	0	0	0	74	91,110
平成25	44	48,010	1	5,332	0	0	45	53,342
平成26	23	40,580	0	0	0	0	23	40,580
平成27	40	50,280	0	0	0	0	40	50,280
平成28	30	40,060	0	0	0	0	30	40,060
平成29	25	24,770	0	0	0	0	25	24,770

別表 16 (事業No.39) 日赤活動資金募集事業実績

年度	平成 27 年度	平成 28 年度	平成 29 年度
目 標 額	57,777,000 円	57,348,000 円	56,922,000 円
実 績 額	53,828,254 円	52,679,077 円	50,728,223 円
達 成 率	93.17%	91.86%	89.12%

別表 17 (事業No.19、40、41、42、43、44) 事務受託団体一覧 (9 団体)

No.	団 体 名	代 表 者		会 員・構 成
1	長野市民生委員児童委員協議会	会 長	伊 藤 篤 志	875 人
2	長野市遺族会	会 長	横 田 久	2,368 人
3	日本赤十字社長野県支部長野市地区	地区長	加 藤 久 雄	—
4	長野県共同募金会長長野市共同募金委員会	会 長	小 林 治 晴	—
5	長野市赤十字奉仕団	委員長	和 田 充 子	3,730 人
6	長野市手をつなぐ育成会	会 長	塚 田 なおみ	292 人
7	長野地区保護司会	会 長	千 野 裕 文	152 人
8	長野地区更生保護女性会	会 長	宮 下 敏 子	1,190 人

No.	団 体 名	代 表 者		会員・構成
9	長野圏域介護保険事業者連絡協議会	会 長	増 山 幸 一	113 事業者

※平成 30 年 3 月 31 日現在

事業理念 2

その人らしい生き方や暮らしを尊重した支援の実施

運営方針 ア 実績資料

別表 18 (事業No.50) 介護等実習生の受入事業実績

学校名等	延べ人数	学校名等	延べ人数
長野赤十字看護学校	80	信州医療福祉専門学校	0
三幸福祉カレッジ	16	長野女子短期大学	15
長野社会福祉専門学校	27	信濃の星	36
長野県社会福祉協議会	190	松本短期大学	9
合 計			373 (506)

※ () 内数字は、平成 28 年度

別表 19 (事業No.51) 居宅介護支援事業実績

1 体制

事業所名	介護支援専門員数	車両台数	備 考
ふれあい介護サービスセンター 居宅介護支援事業所	9	6	特事、兼務 1 人
三陽介護サービスセンター 居宅介護支援事業所	5	3	兼務 1 人、特事
吉田介護サービスセンター 居宅介護支援事業所	5	3	兼務 1 人、特事
安茂里介護サービスセンター 居宅介護支援事業所	8	6	特事、兼務 1 人
篠ノ井介護サービスセンター 居宅介護支援事業所	7	5	兼務 1 人、特事
豊野介護サービスセンター 居宅介護支援事業所	5	3	兼務 1 人、特事
鬼無里介護サービスセンター 居宅介護支援事業所	3	2	特事、兼務 1 人
大岡介護サービスセンター 居宅介護支援事業所	3	1	兼務 3 人
信州新町介護サービスセンター 居宅介護支援事業所	1	1	

事業所名	介護支援専門員数	車両台数	備考
中条介護サービスセンター 居宅介護支援事業所	3	2	特事
合計	49 (49)	33(32)	

※ () 内数字は、平成 28 年度

※備考欄「特事」は特定事業所

2 実績

事業所名	利用（居宅サービス計画作成）件数		
	平成 27 年度	平成 28 年度	平成 29 年度
ふれあい	2,033	1,905	2,417
城山	1,539	1,367	—
三陽	1,074	1,131	1,453
吉田	1,619	1,605	1,736
安茂里	2,945	2,928	3,008
篠ノ井	2,756	2,495	2,176
豊野	1,545	1,764	1,713
鬼無里	971	938	792
大岡	555	541	516
信州新町	622	427	326
中条	1,287	1,075	945
合計	16,946	16,176	15,082

*城山はH29.3.31をもって、ふれあい及び三陽へ統合・廃止

3 要介護認定調査業務実績

事業所名	認定調査件数		
	平成 27 年度	平成 28 年度	平成 29 年度
ふれあい	59	41	18
城山	52	30	—
三陽	36	28	23
吉田	36	26	17
安茂里	69	68	26
篠ノ井	83	70	17
豊野	31	36	11
鬼無里	11	14	4
信州新町	20	19	8
中条	19	27	10
合計	416	359	134

*城山はH29.3.31をもって、ふれあい及び三陽へ統合・廃止

別表 20 (事業No.51) 介護予防支援業務の受託(介護給付) サービス事業実績

居宅介護支援事業所名	利用(介護予防サービス計画作成) 件数		
	平成 27 年度	平成 28 年度	平成 29 年度
ふれあい	419	315	172
城山	377	221	—
三陽	80	91	70
吉田	74	56	24
安茂里	527	449	410
篠ノ井	767	583	282
豊野	68	54	16
鬼無里	375	287	265
大岡	460	570	551
信州新町	203	178	115
中条	464	389	345
合 計	3,814	3,193	2,250

*城山はH29.3.31をもって、ふれあい及び三陽へ統合・廃止

別表 21 (事業No.52) 訪問介護事業実績

1 体制

事業所名	常勤職員数	車両台数	備考
ふれあい介護サービスセンター 訪問介護事業所	6	5	特事
東長野介護サービスセンター 訪問介護事業所	11	10	特事
安茂里介護サービスセンター 訪問介護事業所	5	9	特事
篠ノ井介護サービスセンター 訪問介護事業所	8	7	兼務1人、特事
戸隠介護サービスセンター 訪問介護事業所	6	4	特事
鬼無里介護サービスセンター 訪問介護事業所	2	2	兼務1人、特事
信州新町介護サービスセンター 訪問介護事業所	3	5	兼務1人、特事
中条介護サービスセンター 訪問介護事業所	1	2	
合 計	42(58)	44(49)	

※常勤職員数は平成 29 年 3 月 31 日現在の人数(以下同様)

※()内数字は、平成 28 年度

※備考欄「特事」は特定事業所

2 訪問介護実績

事業所名	平成 27 年度		平成 28 年度		平成 29 年度	
	利用人数	利用回数	利用人数	利用回数	利用人数	利用回数
ふれあい	578	8,275	439	6,480	408	5,825
東長野	950	18,302	742	14,637	658	12,707
安茂里	829	12,016	720	11,026	655	8,706
篠ノ井	654	11,484	674	10,511	583	8,242
戸 隠	382	7,775	339	6,741	277	5,732
鬼無里	257	4,952	239	4,474	161	2,293
信州新町	403	6,112	399	4,810	420	4,605
中 条	179	3,624	206	3,025	260	3,020
合 計	4,232	72,540	3,758	61,704	3,422	51,130

※利用人数は、月毎の実利用人数合算数値

3 介護予防訪問介護実績（経過措置対象者）

事業所名	平成 27 年度		平成 28 年度		平成 29 年度	
	利用人数	利用回数	利用人数	利用回数	利用人数	利用回数
ふれあい	383	1,903	255	1,159	5	33
東長野	531	3,088	429	2,414	35	212
安茂里	461	2,563	318	1,782	33	196
篠ノ井	415	2,906	267	1,714	25	155
戸 隠	60	357	42	275	2	14
鬼無里	107	675	28	163	5	19
信州新町	246	1,349	171	781	9	35
中 条	185	920	156	771	18	84
合 計	2,388	13,761	1,666	9,059	132	748

※利用人数は、月毎の実利用人数合算数値

4 介護予防訪問介護相当サービス実績

事業所名	平成 27 年度		平成 28 年度		平成 29 年度	
	利用人数	利用回数	利用人数	利用回数	利用人数	利用回数
ふれあい	—	—	68	339	240	1,209
東長野	—	—	50	226	346	1,799
安茂里	—	—	49	315	257	1,688
篠ノ井	—	—	52	354	237	1,615
戸 隠	—	—	11	56	69	447
鬼無里	—	—	0	0	11	46

事業所名	平成 27 年度		平成 28 年度		平成 29 年度	
	利用人数	利用回数	利用人数	利用回数	利用人数	利用回数
信州新町	—	—	38	165	160	731
中 条	—	—	17	91	93	421
合 計	—	—	285	1,546	1,413	7,956

※利用人数は、月毎の実利用人数合算数値

※平成 28 年 10 月 1 日から新総合事業開始に伴い、サービス提供開始

別表 22 (事業No.53) 通所介護事業実績

1 体制

事業所名	常勤職員数	車両台数	備考
三陽介護サービスセンター 通所介護事業所	8	5	兼務 1 人
柳町介護サービスセンター 通所介護事業所	6	6	兼務 1 人
吉田介護サービスセンター 通所介護事業所	9	5	兼務 3 人
安茂里介護サービスセンター 通所介護事業所	11	6	
篠ノ井介護サービスセンター 通所介護事業所	5	6	
氷鉋介護サービスセンター 通所介護事業所	8	5	
戸隠介護サービスセンター 通所介護事業所	5	5	兼務 1 人
鬼無里介護サービスセンター 通所介護事業所	8	7	兼務 7 人
大岡介護サービスセンター 通所介護事業所	5	4	兼務 5 人
中条介護サービスセンター 通所介護事業所	6	9	兼務 2 人
合 計	85 (102)	59 (60)	

※ () 内数字は、平成 28 年度

2 通所介護事業実績

事業所名	平成 27 年度		平成 28 年度		平成 29 年度	
	利用人数	利用回数	利用人数	利用回数	利用人数	利用回数
三 陽	728	5,648	806	6,459	841	6,994
柳 町	814	6,129	856	7,007	1,047	8,289
芋 井	[0]	[0]	—	—	—	—
吉 田	851	7,152	954	8,111	961	8,340
安茂里	906	6,229	1,047	7,569	1,222	9,135

事業所名	平成 27 年度		平成 28 年度		平成 29 年度	
	利用人数	利用回数	利用人数	利用回数	利用人数	利用回数
篠ノ井	713	5,525	746	5,882	791	6,176
氷 鉦	634	5,416	636	5,418	671	5,689
戸 隠	385	2,817	—	—	—	—
鬼無里	545	4,281	594	4,629	445	3,376
大 岡	391	2,618	—	—	—	—
中 条	686	5,430	629	4,952	643	4,495
合 計	6,653	51,245	6,268	50,027	6,621	52,494

※利用人数は、月毎の実利用人数合算数値

※芋井は、柳町介護サービスセンター通所介護事業所のサテライトで 28 年度から休止中

3 地域密着型通所介護実績

施設名	平成 27 年度		平成 28 年度		平成 29 年度	
	利用人数	利用回数	利用人数	利用回数	利用人数	利用回数
戸隠	—	—	367	2,940	431	3,752
大岡	—	—	328	2,269	313	2,338
合 計	—	—	695	5,209	744	6,090

※平成 28 年度から開始

4 介護予防通所介護実績（経過措置対象者）

事業所名	平成 27 年度		平成 28 年度		平成 29 年度	
	利用人数	利用回数	利用人数	利用回数	利用人数	利用回数
三 陽	71	417	77	506	8	53
柳 町	332	1,758	212	1,112	11	59
芋 井	[71]	[276]	—	—	—	—
吉 田	257	1,446	195	1,175	3	16
安茂里	487	2,502	366	1,743	35	189
篠ノ井	284	1,663	251	1,399	29	169
氷 鉦	208	1,258	143	928	11	70
戸 隠	134	715	78	432	5	29
鬼無里	148	961	101	580	8	53
大 岡	352	1,596	325	1,406	25	108
中 条	404	2,123	314	1,812	35	198
合 計	2,677	14,439	2,062	11,093	170	944

※利用人数は、月毎の実利用人数合算数値

※芋井は、柳町介護サービスセンター通所介護事業所のサテライトで 28 年度から休止中

5 介護予防通所介護相当サービス実績

事業所名	平成 27 年度		平成 28 年度		平成 29 年度	
	利用人数	利用回数	利用人数	利用回数	利用人数	利用回数
三 陽	—	—	25	146	108	700
柳 町	—	—	59	315	332	1,848
芋 井	—	—	—	—	—	—
吉 田	—	—	38	183	255	1414
安茂里	—	—	73	314	386	1882
篠ノ井	—	—	56	335	279	1818
氷 鮑	—	—	32	193	197	1067
戸 隠	—	—	13	58	91	515
鬼無里	—	—	14	74	116	545
大 岡	—	—	91	344	348	1377
中 条	—	—	43	213	317	1557
合 計	—	—	444	2,175	2,429	12,723

※利用人数は、月毎の実利用人数合算数値

※芋井は、柳町介護サービスセンター通所介護事業所のサテライトで 28 年度から休止中

※平成 28 年 10 月 1 日から新総合事業開始に伴い、サービス提供開始

別表 23 (事業No.54) 短期入所生活介護事業実績

1 体制

施設名	利用定員	常勤職員数	車両台数	備考
鬼無里介護サービスセンター やすらぎ	8	6	1	兼務 6 人 車両は通所と兼用
大岡介護サービスセンター ことぶき荘	12	9	1	兼務 9 人 車両は通所と兼用
合 計	20 (20)	15 (16)	2 (2)	

※ () 内数字は、平成 28 年度

2 短期入所生活介護実績

施設名	平成 27 年度		平成 28 年度		平成 29 年度	
	利用人数	利用回数	利用人数	利用回数	利用人数	利用回数
鬼無里やすらぎ	252	2,498	212	2,325	171	2,136
大岡ことぶき荘	262	3,955	215	3,241	206	2,713
合 計	514	6,453	427	5,566	377	4,849

※利用人数は、月毎の実利用人数合算数値

3 介護予防短期入所生活介護実績

施設名	平成 27 年度		平成 28 年度		平成 29 年度	
	利用人数	利用回数	利用人数	利用回数	利用人数	利用回数
鬼無里やすらぎ	1	6	3	9	—	—
大岡ことぶき荘	6	22	3	30	19	63
合 計	7	28	6	39	19	63

※利用人数は、月毎の実利用人数合算数値

別表 24 (事業No.55) 認知症対応型共同生活介護事業実績

1 体制

施設名	利用定員	常勤職員数	備考
鬼無里介護サービスセンター なかよしハウス	6 (7)	3 (4)	

※ () 内数字は、平成 28 年度

2 実績

施設名	平成 27 年度		平成 28 年度		平成 29 年度	
	利用人数	利用回数	利用人数	利用回数	利用人数	利用回数
鬼無里なかよしハウス	87	2,548	81	2,406	73	2,096

※利用人数は、月毎の実利用人数合算数値

別表 25 (事業No.57、58、59) 障がい福祉サービス事業実績

1 居宅介護・重度訪問介護・同行援護サービス実績

事業所名	平成 27 年度		平成 28 年度		平成 29 年度	
	利用人数	利用回数	利用人数	利用回数	利用人数	利用回数
ふれあい	383	4,319	319	2,975	301	3,041
東長野	476	6,220	471	5,879	493	5,201
安茂里	308	6,232	249	5,649	199	3,572
篠ノ井	334	4,999	325	5,262	316	4,815
戸隠	113	2,218	136	2,608	135	2,519
鬼無里	35	277	59	454	76	662
信州新町	61	685	58	611	70	838
中条	56	993	50	1,149	24	1,124
合 計	1,766	25,943	1,667	24,617	1,614	21,772

※利用人数は、3つのサービスにおける月毎の実利用人数合算数値。

別表 26 (事業No.60) 長野市移動支援サービス事業実績

移動支援サービス	平成 27 年度		平成 28 年度		平成 29 年度	
	利用人数	利用回数	利用人数	利用回数	利用人数	利用回数
	74	188	88	383	69	431

※利用人数は、月毎の実利用人数合算数値

別表 27 (事業No.61) 高齢者生活福祉センター受託事業実績

施設名	定員	項目	平成 27 年度	平成 28 年度	平成 29 年度
鬼無里高齢者生活福祉センター (通称：やすらぎ)	19 人	実利用人数	11	13	13
		月平均利用人数	9.2	8.9	5.7
		延べ利用日数	3,052	2,897	1,895
大岡高齢者生活福祉センター (通称：ことぶき荘)	9 人	実利用人数	3	3	3
		月平均利用人数	1.1	1.1	2
		延べ利用日数	255	324	658
中条高齢者生活福祉センター (通称：いこいハウス)	6 人	実利用人数	9	6	6
		月平均利用人数	5.2	6.0	6
		延べ利用日数	1,628	2,064	2,052

別表 28 (事業No.62) 高齢者共同生活支援施設受託事業実績

施設名	定員	項目	平成 27 年度	平成 28 年度	平成 29 年度
戸隠栃原高齢者共同生活支援 施設 (通称：ひまわり 1 号)	6 人	実利用人数	6	12	8
		月平均利用人数	2.2	2.8	3.1
		延べ利用日数	601	833	874
		食事提供食数	1,678	2,114	2,294
戸隠豊岡高齢者共同生活支援 施設 (通称：ひまわり 2 号)	8 人	実利用人数	11	8	9
		月平均利用人数	3.8	3.3	3.9
		延べ利用日数	1,092	956	1,113
		食事提供食数	2,942	2,541	2,901

運営方針 ウ 実績資料

別表 29 (事業 No66) 成年後見制度利用支援相談窓口開設事業実績

1 相談件数

年度別	平成 27 度	平成 28 度	平成 29 度
件数	4,357	7,025	7,030

2 法人後見事業受任件数

		平成27年度			平成28年度			平成29年度		
		新規	終了	累計	新規	終了	累計	新規	終了	累計
法定	後見	12	4	21	19	4	36	7	0	43
	保佐	5	0	8	3	2	9	7	1	15
	補助	1	0	2	7	0	9	0	1	8
	計	18	4	31	29	6	54	14	2	66
任意後見		0	0	0	2	0	2	3	0	5
合 計		18	4	31	31	6	56	17	2	71

別表 30 (事業 No67) 日常生活自立支援事業実績

1 実績

項 目		平成27年度	平成28年度	平成29年度
相談件数	本 部	15,786	11,869	12,463
	みなみ出張所	6,103	7,515	7,219
	合計	21,889	19,384	19,682
契約件数	本 部	30	21	10
	みなみ出張所	19	21	7
	合計	49	42	17
事業開始からの延べ契約件数 ※		390	432	450

※平成11年10月より事業開始

2 契約件数内訳

年度 対象区分	平成27年度		平成28年度		平成29年度	
	年度内	累計	年度内	累計	年度内	累計
認知症	12	57	10	56	3	49
知的障害	19	75	9	80	9	86
精神障害	17	68	23	82	5	80
その他	1	8	0	4	0	2
合 計	49	208	42	222	17	217

別表 31 (事業No.69) 生活福祉資金貸付事業実績

(金額：円)

資金種別	年度	平成27年度		平成28年度		平成29年度	
		件数	金額	件数	金額	件数	金額
総合支援資金		0	0	0	0	0	0
福祉資金		14	1,504,000	14	1,051,000	12	1,042,000
教育支援資金		4	1,688,000	4	2,053,000	9	8,528,000
不動産担保型生活資金		1	7,950,000	0	0	0	0

臨時特例つなぎ資金	0	0	0	0	0	0
合 計	19	11,142,000	18	3,104,000	21	9,570,000

別表 32 (事業No.70) 助け合い資金貸付事業実績

(金額：円)

年度	貸付額		前期末未償還額		当期償還金額		不納欠損処理額		未償還残額	
	人員	金額	人員	金額	人員	金額	人員	金額	人員	金額
平成 13 年度	1	50,000	1	46,500	0	0	0	0	1	46,500
平成 14 年度	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
平成 15 年度	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
平成 16 年度	1	50,000	1	33,000	0	0	0	0	1	33,000
平成 17 年度	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
平成 18 年度	1	50,000	1	31,000	1	21,000	0	0	1	10,000
平成 19 年度	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
平成 20 年度	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
平成 21 年度	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
平成 22 年度	2	200,000	1	64,500	1	12,500	0	0	1	52,000
平成 23 年度	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
平成 24 年度	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
平成 25 年度	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
平成 26 年度	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
合 計	5	350,000	4	175,000	2	33,500	0	0	4	141,500

※生活福祉資金貸付事業の対象要件が緩和・拡大されたことにより、平成 27 年度以降貸付停止。

別表 33 (事業No.71、72) きぼう相談事業及び法律相談事業実績

1 相談件数

実 施 状 況			年 度		
			平成 27 年度	平成 28 年度	平成 29 年度
きぼう相談	一般相談	本部 毎週 火・金曜日 9:00 ~ 16:00	1,161	1,192	1,155
	一般相談	篠ノ井 毎週 月曜日 9:00 ~ 16:00	384	428	454
	合 計		1,545	1,620	1,609
専門相談	法律相談	本部 毎月 第3金曜日 13:00 ~ 15:00	37	37	36

2 きぼう相談内容内訳

内容	暮らし・住まい	健康	人間関係	法律	紹介・問合せ	よろず	相談所への問合せ等	その他	合計
平成 27 年度	122	73	234	155	94	604	231	29	1,545
平成 28 年度	96	130	250	115	100	614	253	62	1,620
平成 29 年度	57	106	177	90	34	946	188	11	1,609

別表 34 (事業No.73) 長野市生活就労支援センター「まいさぽ長野市」運営事業

1 自立相談支援事業

項目	平成 27 年度	平成 28 年度	平成 29 年度
相談件数 (のべ)	5,522	6,562	7,085
相談者数 (実数)	1,219	942	966
新規相談者数 (実数)	1,219	703	681
就労者数 (実数)	88	107	122

※相談者数は関係機関も含む。

2 家計相談支援事業

項目	平成 27 年度	平成 28 年度	平成 29 年度
相談件数 (のべ)	601	802	917
相談者数 (実数)	49	101	123
事業利用者数 (実数)	4	11	33
新規利用申込数 (実数)	4	8	23

※相談者数は関係機関も含む。

3 就労訓練支援事業

項目	平成 27 年度	平成 28 年度	平成 29 年度
相談・助言・開拓等件数 (のべ)		66	282

※平成 28 年度から実施。

別表 35 (事業No.74) ふれあいデイケア事業実績

項目	実施回数等	内容
煎茶デイケア	月 1 回 のべ 8 回	参加者 11 人 のべ 53 人
ちぎり絵デイケア	月 2 回 のべ 20 回	〃 4 人 のべ 50 人
書道デイケア	週 1 回 のべ 47 回	〃 13 人 のべ 276 人

項目	実施回数等	内 容
ふれあい交流会	8月2日(水) 12月6日(水) 12月12日(火) 1月10日(水)	デイケア参加メンバーが七夕、クリスマス会など季節のの行事等でふれあい交流を図った。
研修会の開催	10月27日(金) 10月31日(火) 11月13日(月)	煎茶、ちぎり絵、書道のデイケアで外出研修交流を図った。
作品の出展	6月、10月、 12月、1月	ふれあい書道展(主催:全国書画展覧会運営委員会)、市民書道展(主催:長野市民新聞社)、ちぎり絵展への作品出展

別表 36 (事業No.75) 地域包括支援センター (指定介護予防支援事業、包括的支援事業、介護予防教室事業及び介護者教室事業) 実績

1 体制

事業所名	常勤職員数	職員内訳		車両台数
地域包括支援センター 安茂里	5 (5)	介護支援専門員 [うち主任介護支援専門員]	2 [1]	3 (2)
		保健員(看護師)	1	
		社会福祉員(社会福祉士)	2	
地域包括支援センター 豊野サブセンター	3 (3)	介護支援専門員 [うち主任介護支援専門員]	1 [1]	2 (2)
		保健員(看護師)	1	
		社会福祉員(社会福祉士)	1	
地域包括支援センター 吉田	4 (4)	介護支援専門員 [うち主任介護支援専門員]	2 [2]	2 (2)
		保健員(看護師)	1	
		社会福祉員(社会福祉士)	1	

※ () 内数字は、平成 28 年度

2 実績

ア 相談件数

事業所名	平成 27 年度	平成 28 年度	平成 29 年度
安茂里	474	844	1,372
豊野サブ	936	889	789
吉田	1,755	1,193	1,439
合 計	3,165	2,926	3,600

相談の内容

項 目	平成 27 年度			平成 28 年度			平成 29 年度		
	安茂里	豊野	吉田	安茂里	豊野	吉田	安茂里	豊野	吉田
介護保険関係	314	500	1,192	596	512	767	863	459	1,256
その他在宅福祉サービス	117	291	497	167	243	302	208	211	102
医療に関すること	47	190	372	68	221	218	155	204	96
施設・住まいに関する こと	50	118	281	48	116	124	119	109	42
高齢者虐待	18	18	59	6	13	18	7	9	4
成年後見制度	6	14	27	9	6	27	13	5	4
消費者被害	1	4	0	1	2	0	0	3	0
支援困難事例	—	—	147	—	—	—	—	—	—
苦情対応・調整	1	16	22	7	6	0	16	0	0
その他	97	118	135	120	59	17	238	56	48
合 計	651	1,269	2,732	1,022	1,178	1,473	1,619	1,056	1,552

※1件の相談で内容が多岐にわたる場合、それぞれの項目でカウントしているため、合計は前表の相談件数と一致しない。

イ 高齢者実態把握人数

事業所名	平成 27 年度	平成 28 年度	平成 29 年度
安茂里	168	197	203
豊野サブ	203	172	168
吉田	205	293	157
合 計	576	662	528

ウ 介護予防サービス計画書作成件数 ※居宅介護支援事業所へ業務委託分は除く

事業所名	平成 27 年度	平成 28 年度	平成 29 年度
安茂里	2,811	2,296	1,029
豊野サブ	810	846	633
吉田	1,816	1,785	941
合 計	5,437	4,927	2,603

エ 介護予防ケアマネジメント作成件数 ※居宅介護支援事業所へ業務委託分は除く

事業所名	平成 27 年度	平成 28 年度	平成 29 年度
安茂里	—	238	1,443
豊野サブ	—	53	440
吉田	—	339	812
合 計	—	630	2,695

オ 地域包括ケア推進ネットワーク会議

事業所名	平成 27 年度	平成 28 年度	平成 29 年度
安茂里	0	1	2
豊野サブ	1	3	2
吉田	2	2	2
合 計	3	6	6

カ 介護者教室

事業所名		平成 27 年度	平成 28 年度	平成 29 年度
安茂里	開催回数	3	3	3
	参加人数	65	42	61
豊野サブ	開催回数	3	3	3
	参加人数	158	63	54
吉田	開催回数	3	3	4
	参加人数	89	53	95
合計	開催回数	9	9	10
	参加人数	312	158	210

キ 介護予防教室

事業所名		平成 27 年度	平成 28 年度	平成 29 年度
安茂里	開催回数	19	19	20
	参加人数	215	350	331
豊野サブ	開催回数	13	11	9
	参加人数	303	269	135
吉田	開催回数	9	9	9
	参加人数	240	258	201
合計	開催回数	41	39	38
	参加人数	758	877	667

別表 37 (事業No.76) 在宅介護支援センター (在宅介護に関する総合相談事業、高齢者実態把握調査事業、介護予防教室事業及び介護者教室事業) 事業実績

1 体制

事業所名	常勤職員数	車両台数	備 考
鬼無里在宅介護支援センター	1	0	車両は居宅と兼用
大岡在宅介護支援センター	3	0	車両は居宅と兼用、兼務 3 人
合 計	4 (4)	0 (0)	

※ () 内数字は、平成 27 年度

2 実績

ア 相談件数

事業所名	平成 27 年度	平成 28 年度	平成 29 年度
鬼無里	921	597	550
大岡	555	281	432
合 計	1,476	878	982

相談の内容

項 目	平成 27 年度		平成 28 年度		平成 29 年度	
	鬼無里	大岡	鬼無里	大岡	鬼無里	大岡
介護保険関係	235	550	178	122	231	175
その他在宅福祉サービス	315	5	237	60	164	67
医療に関すること	348	12	192	96	243	15
施設・住まいに関すること	143	15	113	29	33	17
高齢者虐待	1	0	0	5	0	0
成年後見制度	3	0	0	0	0	1
消費者被害	0	0	13	9	2	3
苦情対応・調整	0	3	0	1	1	0
その他	136	5	100	15	170	211
合 計	1,181	590	833	337	691	642

※1件の相談で内容が多岐にわたる場合、それぞれの項目でカウントしているため、合計は前表の相談件数と一致しない。

イ 高齢者実態把握件数

事業所名	平成 27 年度	平成 28 年度	平成 29 年度
鬼無里	315	324	332
大岡	477	396	367
合 計	792	720	699

ウ 介護者教室

事業所名		平成 27 年度	平成 28 年度	平成 29 年度
鬼無里	開催回数	4	3	3
	参加人数	40	43	35
大岡	開催回数	3	3	3
	参加人数	65	35	37
合計	開催回数	7	6	6
	参加人数	105	78	72

エ 介護予防教室

事業所名		平成 27 年度	平成 27 年度	平成 29 年度
鬼無里	開催回数	10	9	12
	参加人数	124	135	140
大岡	開催回数	9	9	9
	参加人数	182	130	122
合計	開催回数	19	18	21
	参加人数	306	265	262

事業理念 3

状況に応じた柔軟で迅速な取組の実施

運営方針 ア 実績資料

別表 38 (事業No.78) 苦情受付件数

苦 情 の 内 容	平成 27 年度	平成 28 年度	平成 29 年度
職員の接遇（態度）に関するもの	10	14	8
公用車の運転（駐車）方法に関するもの	10	13	5
提供しているサービスに関するもの	12	20	6
施設（設備・利用）に関するもの	0	1	1
その他	6	7	5
合 計	38	55	25

※その他はFAX番号の間違い、子ども同士のけんかに関するものなど

運営方針 ウ 実績資料

別表39 (事業No.82) 県内社協職員災害初動時先遣チーム（DSAT）への参加

1 選出メンバー

- (1) 正規メンバー 小野 貴規
- (2) 交代メンバー 松岡 伸樹、上平 祥平、村田 智徳

2 実績

月日	実施内容	主催	参加者	備考
H29. 4. 21	DSAT 委嘱状交付式	県社協	小野	説明、意見交換等
H30. 1. 29	災害時の連携を考える長野県フォーラム	県生協連、県NPOセンター、県社協	小野	
H30. 3. 9	災害ボランティアセンター運営支援者研修	県社協	小野	
H30. 3. 10	災害福祉支援ネットワークセミナー	県社協	小野	

